

# 障がい者のくらしについてのアンケート結果

令和6年2月実施

障がい福祉課

## 障がい者のくらしについてのアンケート結果

### 1 調査目的

障がい者及びその介護者の実態と障がい福祉サービス等のニーズを把握し、令和7年度を始期とする盛岡市障がい者福祉計画の基礎資料及び福祉施策の参考とするためアンケートを実施しました。

### 2 調査対象 2,162人を次のとおり無作為抽出（令和6年1月1日現在で抽出）

- (1) 障がい者手帳所持者 2,000人（身体1,234人、療育316人、精神450人）
- (2) 指定難病で障がい福祉サービスを利用している者 86人
- (3) 医療的ケア児（者） 76人

### 3 調査時期 令和6年2月

### 4 調査方法 配布：郵送 回収：郵送またはWEB

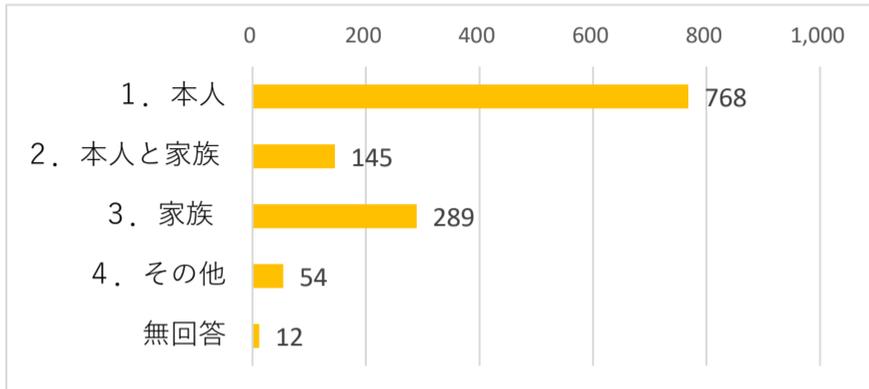
### 5 回答数 1,268人（回収率58.6%）

### 6 表示について

- (1) 各回答の比率は小数点第2位を四捨五入して表示していますので、誤差が生じる場合があります。
- (2) 複数回答の設問では回答対象者数を基数として比率算出をしているため、比率の合計が100%を超えるものです。なお、合計は表示していません。
- (3) 無回答には無効回答を含んでいます。
- (4) 平成29年度に行った障がい者アンケートの結果を、参考表示している設問があります。
- (5) Nは対象数であり、割合を算出する際のもとになる数字です。

【問1】 この調査票を記入される方はどなたですか。

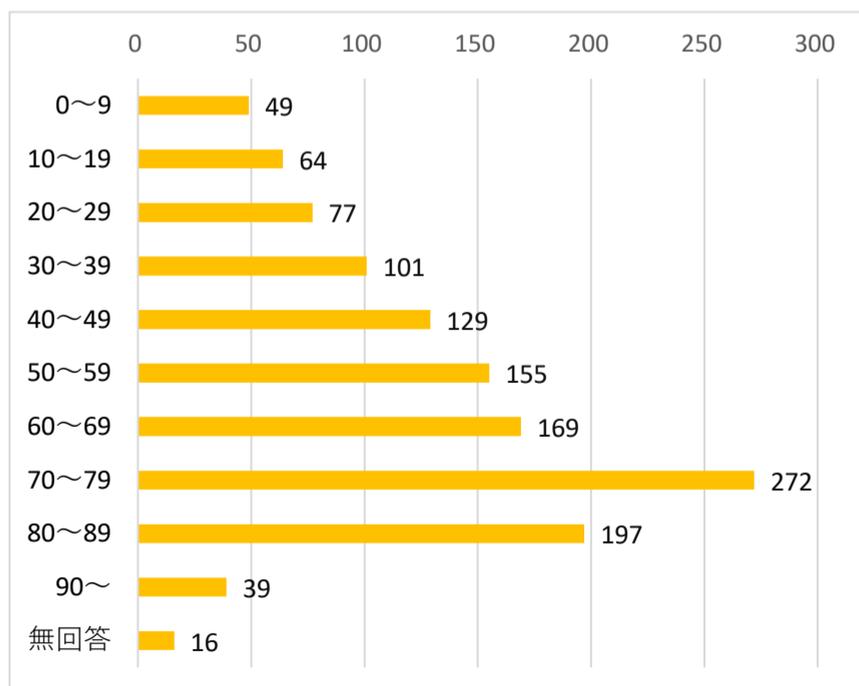
	回答数	割合
1. 本人	768	60.6%
2. 本人と家族	145	11.4%
3. 家族	289	22.8%
4. その他	54	4.3%
無回答	12	0.9%
計	N=1,268	1,268 100.0%



調査票の記入は多くが本人記入ですが、対象者が幼少や高齢の場合などご家族や施設の職員が記入してくださいました。

【問2】 あなたは令和6年1月1日現在、何歳ですか。

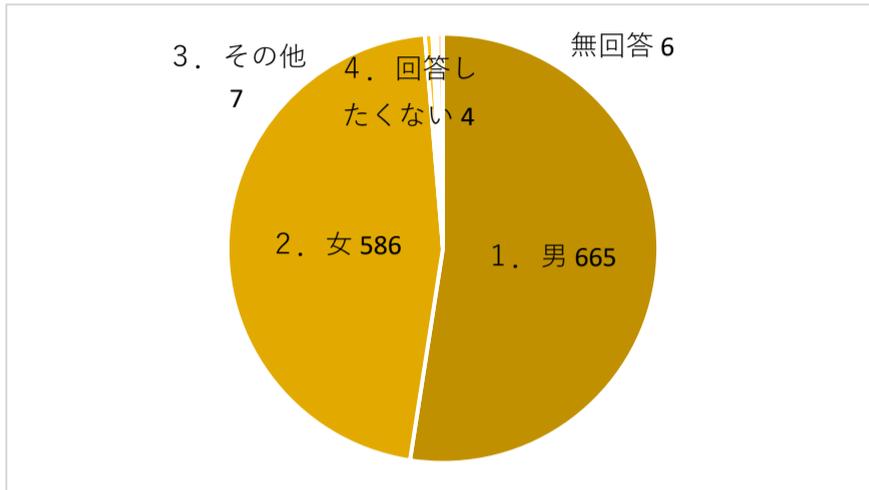
(歳)	回答数	割合
0～9	49	3.9%
10～19	64	5.0%
20～29	77	6.1%
30～39	101	8.0%
40～49	129	10.2%
50～59	155	12.2%
60～69	169	13.3%
70～79	272	21.5%
80～89	197	15.5%
90～	39	3.1%
無回答	16	1.3%
計	N=1,268	1,268 100.0%



回答は多い順に70歳代、80歳代、60歳代の順となっています。

【問3】 あなたの性別をお答えください。

	回答数	割合
1. 男	665	52.4%
2. 女	586	46.2%
3. その他	7	0.6%
4. 回答したくない	4	0.3%
無回答	6	0.5%
計	N=1,268	1,268 100.0%

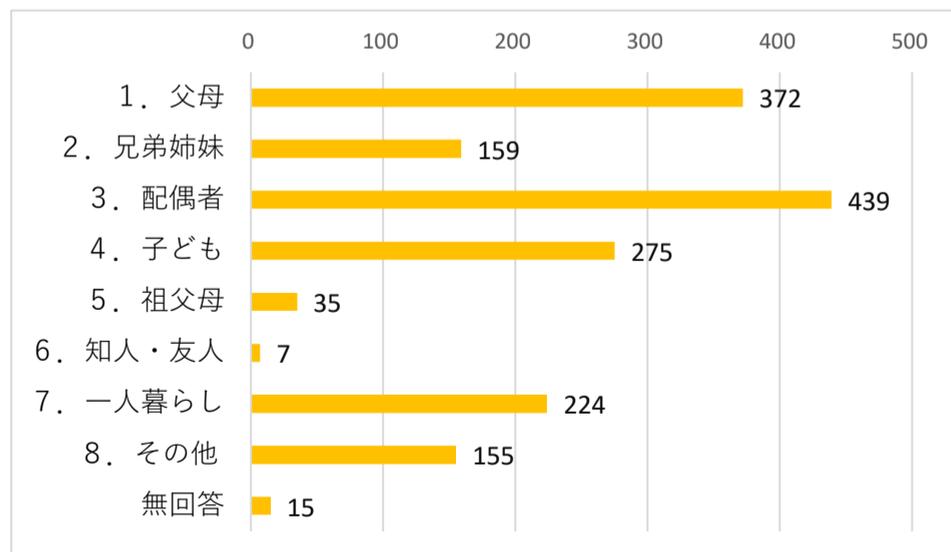


回答は男52.4%、女46.2%でした。

【問4】 あなたは誰と暮らしていますか。当てはまるものをすべてお選びください。

【複数回答】	回答数	割合
1. 父母	372	22.1%
2. 兄弟姉妹	159	9.5%
3. 配偶者	439	26.1%
4. 子ども	275	16.4%
5. 祖父母	35	2.1%
6. 知人・友人	7	0.4%
7. 一人暮らし	224	13.3%
8. その他	155	9.2%
無回答	15	0.9%

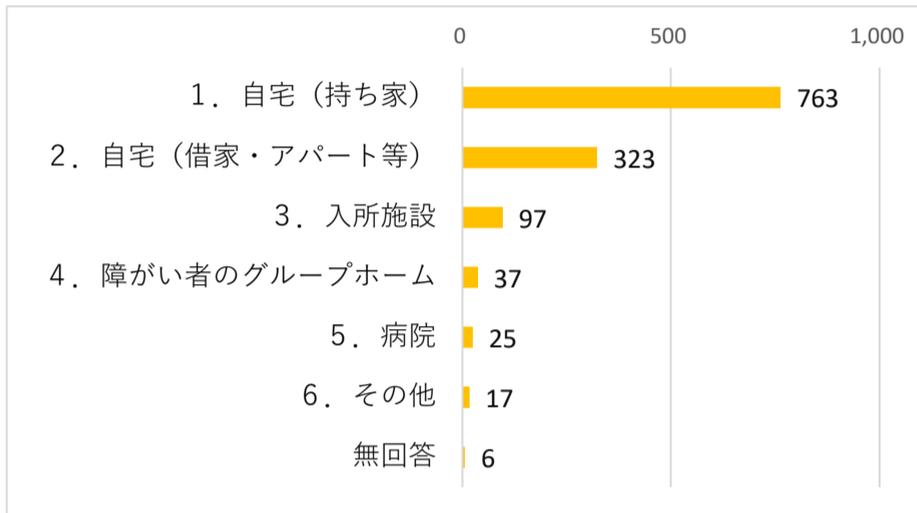
N=1,268



近親者と暮らしている人がほとんどですが、一人暮らしが13.3%でした。その他はグループホームなどでの共同生活や入院・施設入所中との回答がありました。

【問5】 今のお住まいはどれにあたりますか。

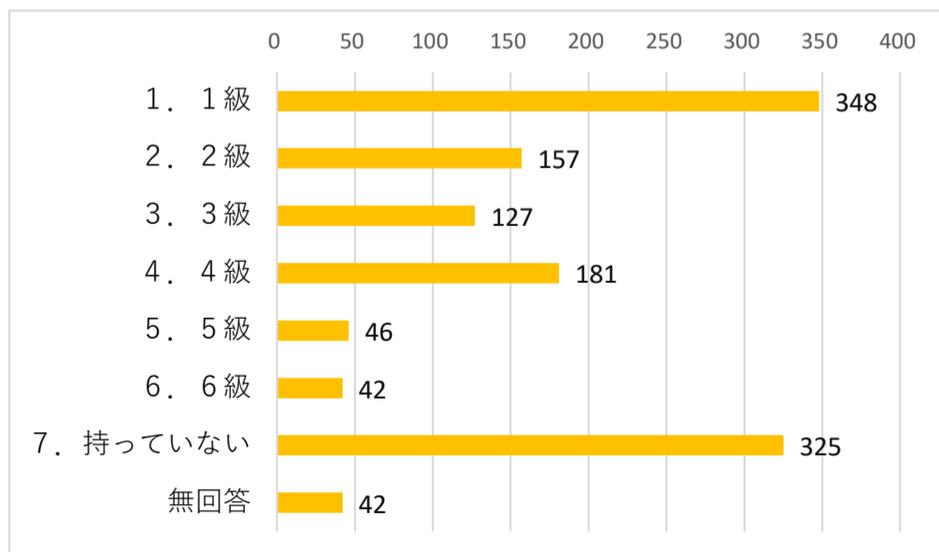
	回答数	割合
1. 自宅（持ち家）	763	60.2%
2. 自宅（借家・アパート等）	323	25.5%
3. 入所施設	97	7.6%
4. 障がい者のグループホーム	37	2.9%
5. 病院	25	2.0%
6. その他	17	1.3%
無回答	6	0.5%
計	N=1,268	1,268 100.0%



85.7%の人が自宅で暮らしていると回答しました。

【問6】 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

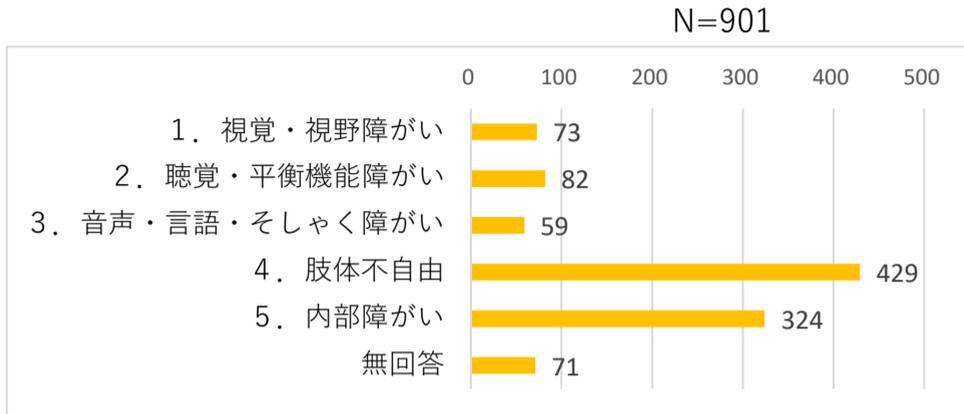
	回答数	割合
1. 1級	348	27.4%
2. 2級	157	12.4%
3. 3級	127	10.0%
4. 4級	181	14.3%
5. 5級	46	3.6%
6. 6級	42	3.3%
7. 持っていない	325	25.6%
無回答	42	3.3%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の71%が身体障害者手帳を所持していました。また、等級は1級が27.4%と最も多い結果となりました。

【問 7】 【問 6】 で 1 級～ 6 級と答えた方は、どのような身体障がいがありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

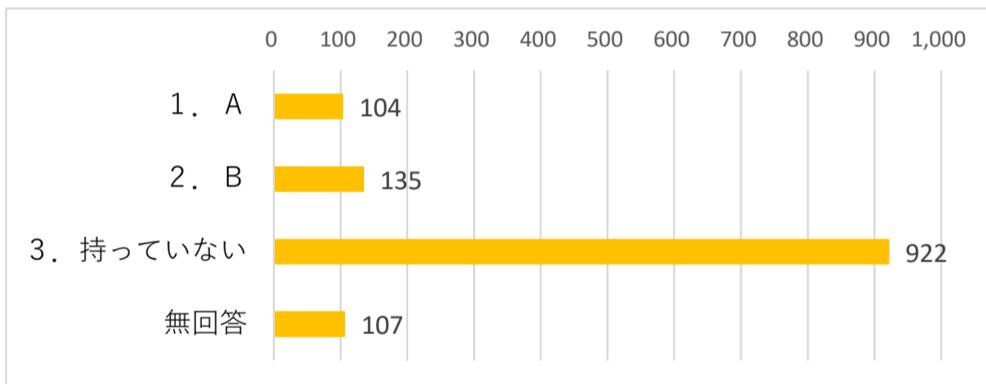
【複数回答】	回答数	割合
1. 視覚・視野障がい	73	8.1%
2. 聴覚・平衡機能障がい	82	9.1%
3. 音声・言語・そしゃく障がい	59	6.5%
4. 肢体不自由	429	47.6%
5. 内部障がい	324	36.0%
無回答	71	7.9%



アンケートに答えた人の障がい種別の割合は「肢体不自由」が47.6%と最も多く、次いで「内部障がい」の36.0%となっています。回答者の割合は、ほぼ実際の手帳所持者数の分布と重なっています。

【問 8】 あなたは療育手帳をお持ちですか。

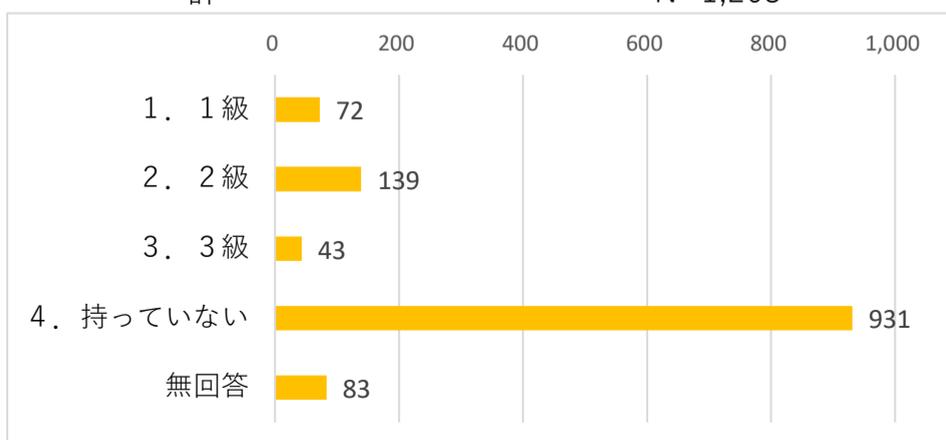
	回答数	割合
1. A	104	8.2%
2. B	135	10.6%
3. 持っていない	922	72.7%
無回答	107	8.4%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の約 2 割（18.8%）が療育手帳（知的障がいの手帳）を所持していました。実際の手帳所持者数は手帳「B」が「A」より多くなっています。

【問 9】 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

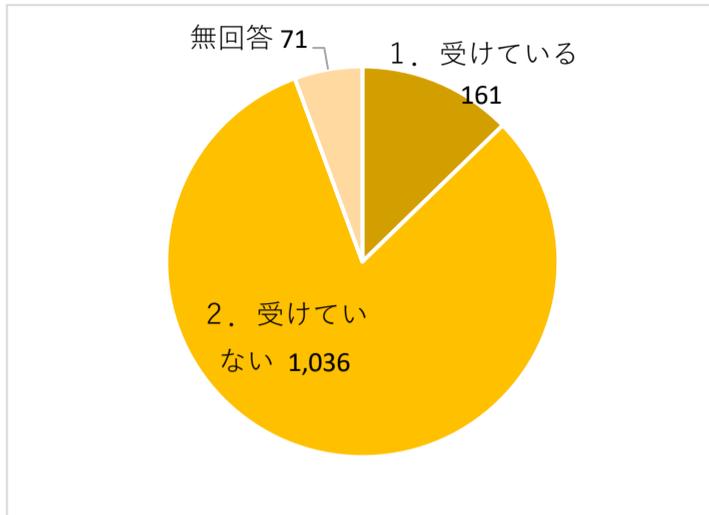
	回答数	割合
1. 1 級	72	5.7%
2. 2 級	139	11.0%
3. 3 級	43	3.4%
4. 持っていない	931	73.4%
無回答	83	6.5%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の約 2 割（20.1%）が精神障害者保健福祉手帳を所持していました。実際の手帳所持者数も多い順に 2 級、1 級 3 級となっています。

【問10】 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

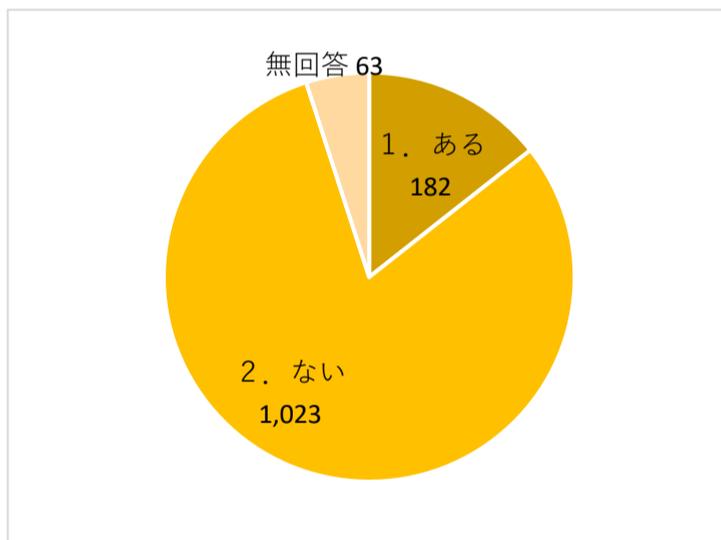
	回答数	割合
1. 受けている	161	12.7%
2. 受けていない	1,036	81.7%
無回答	71	5.6%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の12.7%が難病認定を受けていました。

【問11】 あなたは発達障がいと診断されたことがありますか。

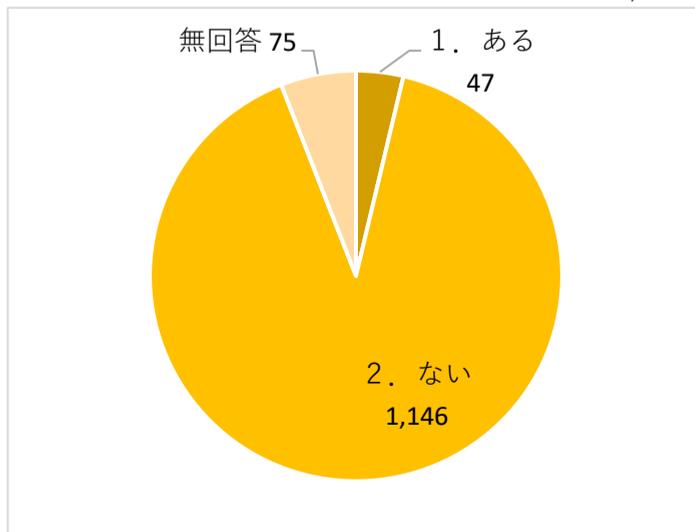
	回答数	割合
1. ある	182	14.4%
2. ない	1,023	80.7%
無回答	63	5.0%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の14.4%が発達障がいと診断されたことがありました。

【問12】 あなたは高次脳機能障がいと診断されたことがありますか。

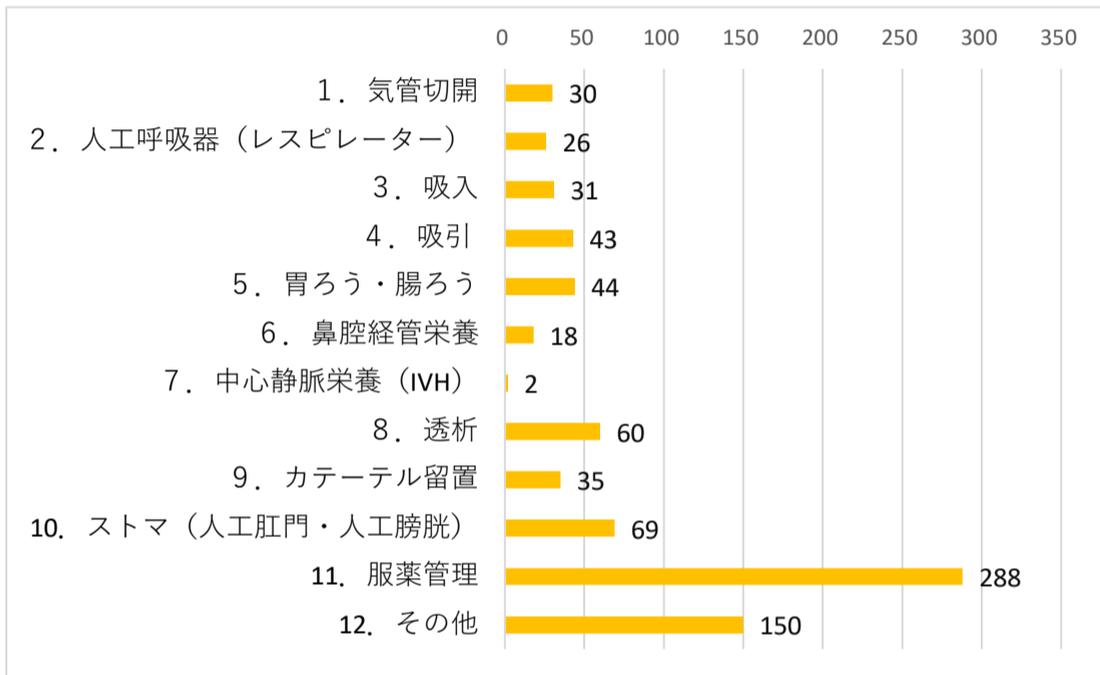
	回答数	割合
1. ある	47	3.7%
2. ない	1,146	90.4%
無回答	75	5.9%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人の3.7%が高次脳機能障がいと診断されたことがありました。

【問13】 医療的ケアを受けている場合、当てはまるものをすべてお選びください。

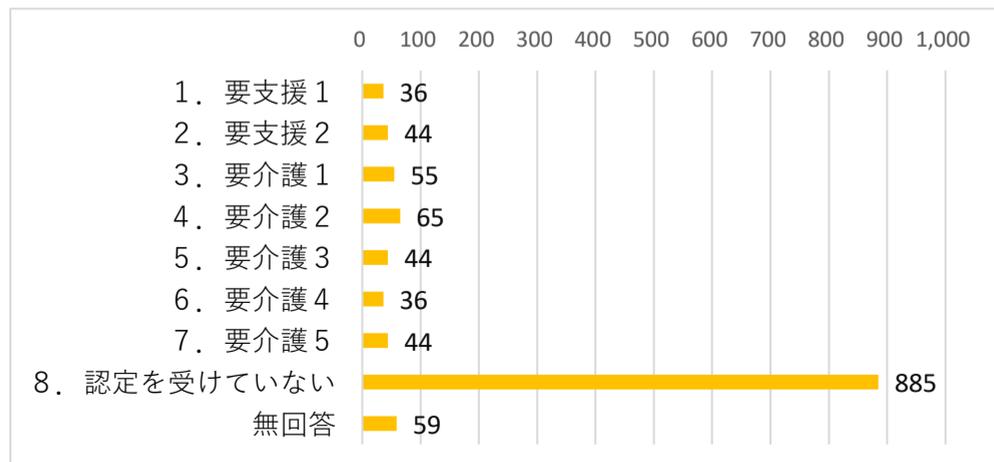
【複数回答】	回答数	割合	
1. 気管切開	30	5.2%	
2. 人工呼吸器（レスピレーター）	26	4.5%	
3. 吸入	31	5.4%	
4. 吸引	43	7.5%	
5. 胃ろう・腸ろう	44	7.6%	
6. 鼻腔経管栄養	18	3.1%	
7. 中心静脈栄養（IVH）	2	0.3%	
8. 透析	60	10.4%	
9. カテーテル留置	35	6.1%	
10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）	69	12.0%	
11. 服薬管理	288	49.9%	
12. その他	150	26.0%	N = 577



アンケート回答者数1,268人中  
577人が医療的ケアを受けている  
と回答しており、医療的ケアを  
受けている人の49.9%が「服薬  
管理」を受けていました。

【問14】 あなたは介護保険の認定を受けていますか。

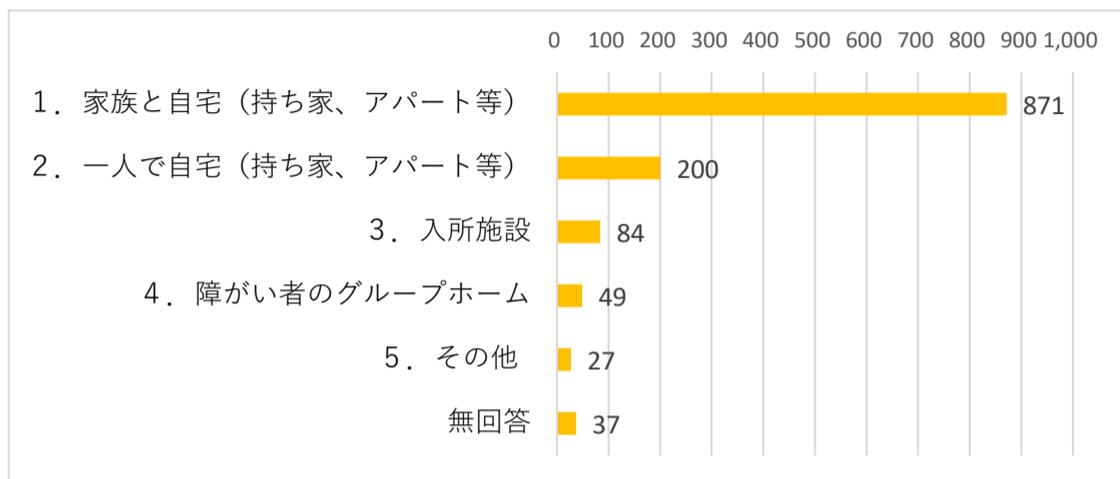
	回答数	割合
1. 要支援 1	36	2.8%
2. 要支援 2	44	3.5%
3. 要介護 1	55	4.3%
4. 要介護 2	65	5.1%
5. 要介護 3	44	3.5%
6. 要介護 4	36	2.8%
7. 要介護 5	44	3.5%
8. 認定を受けていない	885	69.8%
無回答	59	4.7%
計	N=1,268	1,268 100.0%



アンケートに回答した人のう  
ち介護認定を受けている人は  
25.5%でした。

【問15】 あなたはどこで暮らしたいですか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 家族と自宅（持ち家、アパート等）	871	68.7%
2. 一人で自宅（持ち家、アパート等）	200	15.8%
3. 入所施設	84	6.6%
4. 障がい者のグループホーム	49	3.9%
5. その他	27	2.1%
無回答	37	2.9%
計	N=1,268	1,268 100.0%

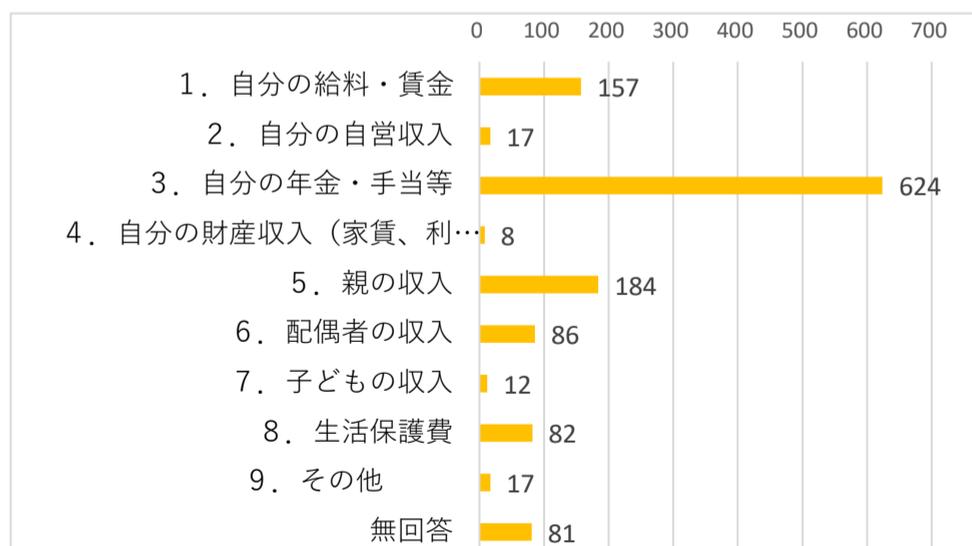


【問5】 × 【問15】

「どこで暮らしたいですか。」と「今のお住まいはどれにあたりますか。」の結果はほぼ同じになりました。また、自宅で暮らしたいと回答（1,2を選択）した人の割合が84.5%と高く、回答の大半を占めていました。

【問16】 あなたが生活をするうえでの主な収入は何ですか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 自分の給料・賃金	157	12.4%
2. 自分の自営収入	17	1.3%
3. 自分の年金・手当等	624	49.2%
4. 自分の財産収入（家賃、利子等）	8	0.6%
5. 親の収入	184	14.5%
6. 配偶者の収入	86	6.8%
7. 子どもの収入	12	0.9%
8. 生活保護費	82	6.5%
9. その他	17	1.3%
無回答	81	6.4%
計	N=1,268	1,268 100.0%

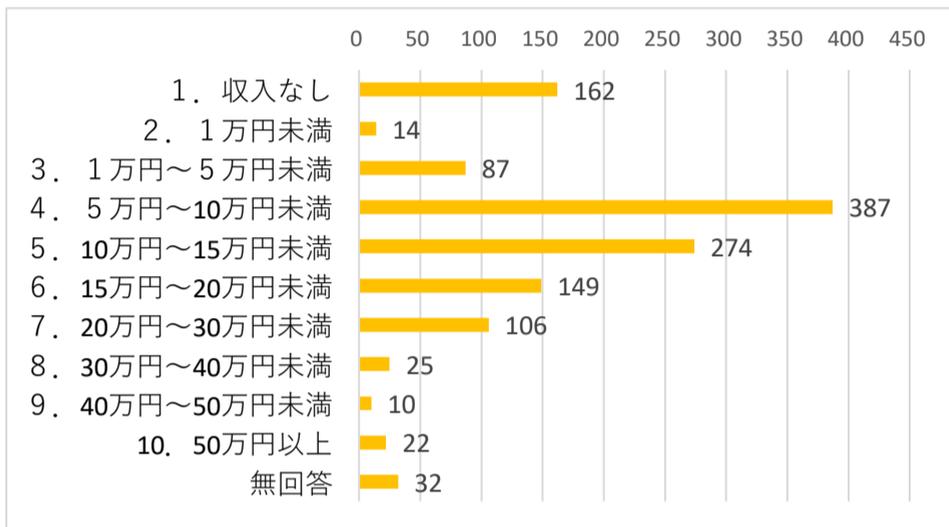


自分の収入で生活している人は63.5%でした。

【問17】 あなたの現在の収入（給与、年金などを含めた総収入）は月平均どれくらいですか。  
1つお選びください。

	回答数	割合
1. 収入なし	162	12.8%
2. 1万円未満	14	1.1%
3. 1万円～5万円未満	87	6.9%
4. 5万円～10万円未満	387	30.5%
5. 10万円～15万円未満	274	21.6%
6. 15万円～20万円未満	149	11.8%
7. 20万円～30万円未満	106	8.4%
8. 30万円～40万円未満	25	2.0%
9. 40万円～50万円未満	10	0.8%
10. 50万円以上	22	1.7%
無回答	32	2.5%
計	1,268	100.0%

N=1,268

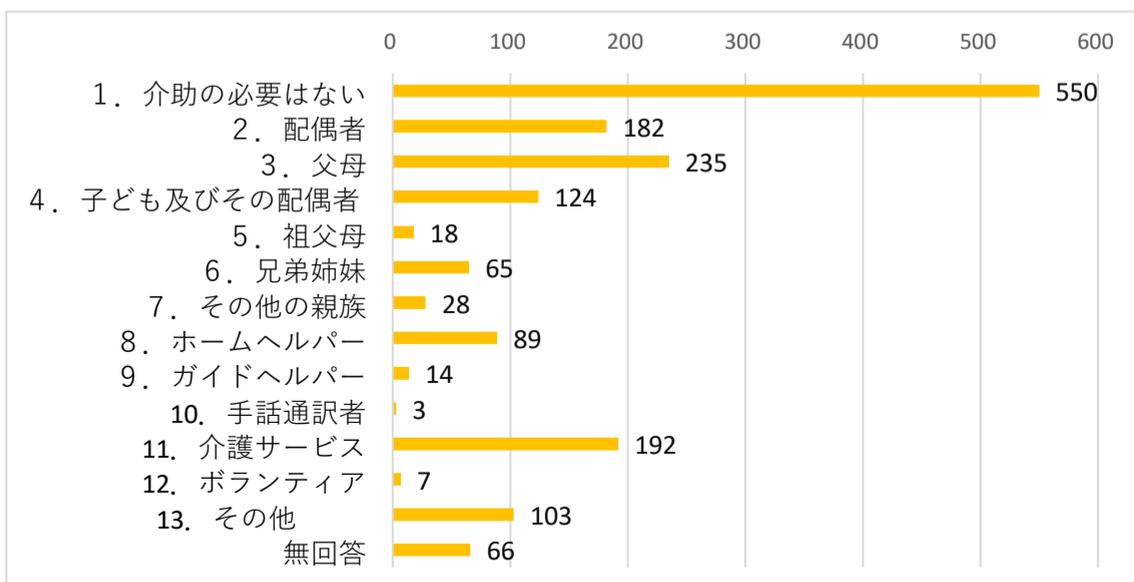


月の収入が5万円～15万円未満（選択肢4、5を選択）の人が約半数の52.1%でした。

【問18】 あなたは身の回りのことが一人でできますか。介助が必要な場合は介助者は誰ですか。  
当てはまるものをすべてお選びください。

	回答数	割合
【複数回答】		
1. 介助の必要はない	550	43.4%
2. 配偶者	182	14.4%
3. 父母	235	18.5%
4. 子ども及びその配偶者	124	9.8%
5. 祖父母	18	1.4%
6. 兄弟姉妹	65	5.1%
7. その他の親族	28	2.2%
8. ホームヘルパー	89	7.0%
9. ガイドヘルパー	14	1.1%
10. 手話通訳者	3	0.2%
11. 介護サービス	192	15.1%
12. ボランティア	7	0.6%
13. その他	103	8.1%
無回答	66	5.2%

N=1,268

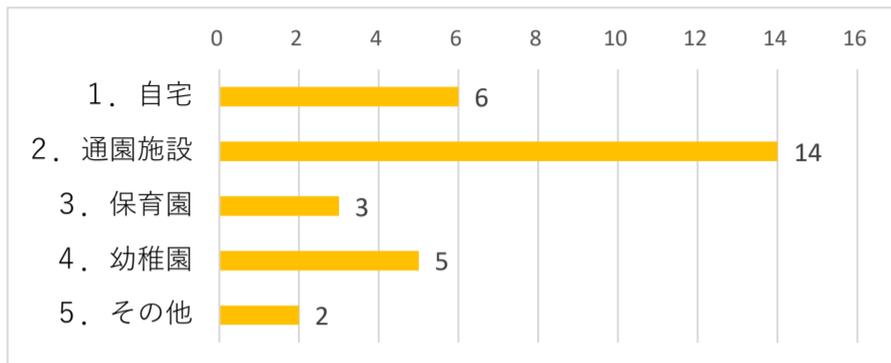


身の回りのことが自分ででき「介助の必要はない」が43.4%でした。介助が必要な場合、「父母」や「配偶者」による介助や、「介護サービス」を利用する割合が高くなっています。

《就学前の方のみ問19～問21をお答えください。》

【問19】 あなたは平日の日中、主にどこで過ごしていますか。1つお選びください。

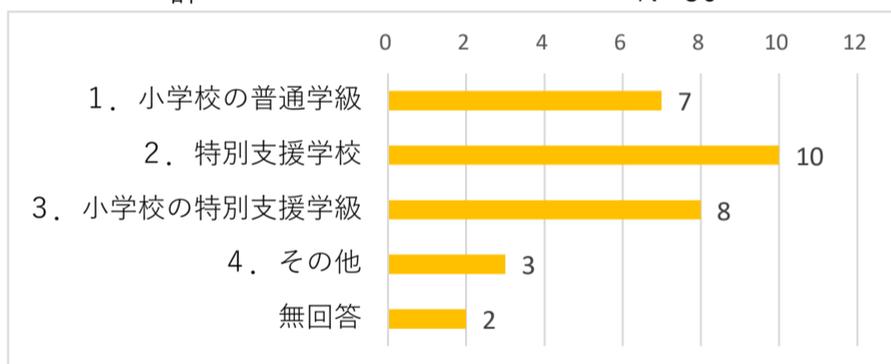
	回答数	割合
1. 自宅	6	20.0%
2. 通園施設	14	46.7%
3. 保育園	3	10.0%
4. 幼稚園	5	16.7%
5. その他	2	6.7%
計	N=30	30 100.0%



平日の日中は「通園施設」で過ごす人が46.7%と約半数を占めています。

【問20】 あなたは、就学の進路についてどのようにお考えですか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 小学校の普通学級	7	23.3%
2. 特別支援学校	10	33.3%
3. 小学校の特別支援学級	8	26.7%
4. その他	3	10.0%
無回答	2	6.7%
計	N=30	30 100.0%



「特別支援学校」への就学を考えているが最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」「小学校の普通学級」の順となっています。

【問21】 就学するうえで必要な配慮や支援があればご記入ください。

- ・ 体に傷があるがいじめにつながるような悪口等がないような配慮、友達に変な目で見られないような周りの配慮
- ・ 就学先、支援学級、放課後デイサービス等障がい児福祉サービスの積極的な情報提供
- ・ 常に日常生活の見守り（危険回避、意思疎通、移動時の声掛け）や介助（トイレ、着脱等）
- ・ 車いすでの生活に必要なスロープ、エレベーター、多目的トイレ、自己導尿スペース、必要な物を置く場所とその管理
- ・ 医療的ケア（経管栄養、吸引、在宅酸素）への対応のため看護師常駐が必要
- ・ カニューレ抜管した時の緊急時の対応ができること、様々な職種が連携しチームで支援できる体制
- ・ 医ケア児（気管切開・胃ろう）でも長時間預けられる放課後等デイサービスを増やし、運営継続を援助
- ・ 初めての活動に不安を抱きやすいので、活動内容の事前の情報提供や絵カードを使用するなどの伝え方の工夫
- ・ 両親の始業に間に合うような朝の受け入れ、長期休みに対応した放課後等デイサービス
- ・ 障がいの特性に応じた配慮・支援（席、補助装置、見守り、自己導尿を友達など周囲に知られたくないなど）
- ・ 職員間の障がい特性の引継ぎの徹底

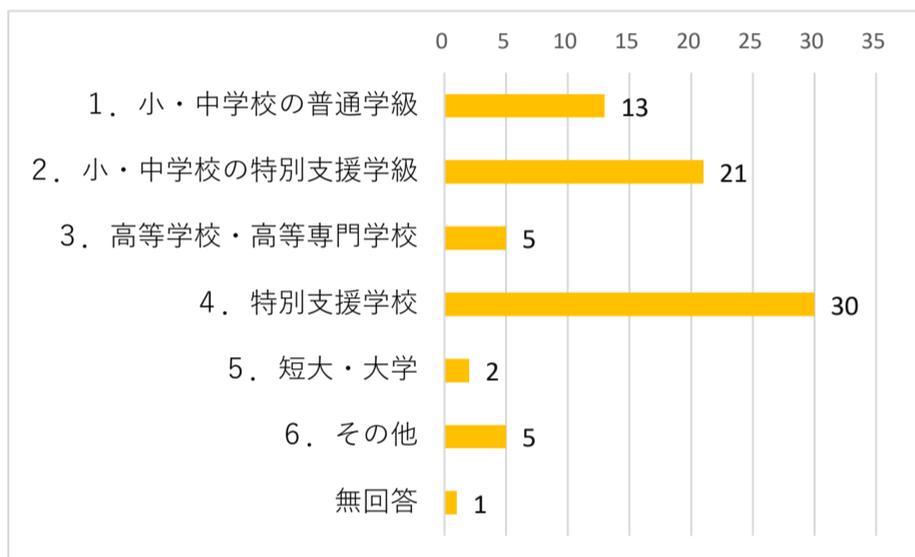
- ・ ロジャーシステムや聴覚障がいに対する支援
- ・ 通学支援
- ・ 学童クラブ使用料の支援

就学先の情報提供、障がい特性に応じた配慮や施設整備、関係者による情報共有と連携した支援が求められています。また、保護者の就業や負担の観点から、朝の受入れ時間の繰り上げや通学支援、放課後等デイサービスの充実、経済的負担軽減が求められています。

《就学中の方のみ、問22～問25をお答えください。》

【問22】 あなたは平日の日中、主にどこで過ごしていますか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 小・中学校の普通学級	13	16.9%
2. 小・中学校の特別支援学級	21	27.3%
3. 高等学校・高等専門学校	5	6.5%
4. 特別支援学校	30	39.0%
5. 短大・大学	2	2.6%
6. その他	5	6.5%
無回答	1	1.3%
計	N=77	77 100.0%



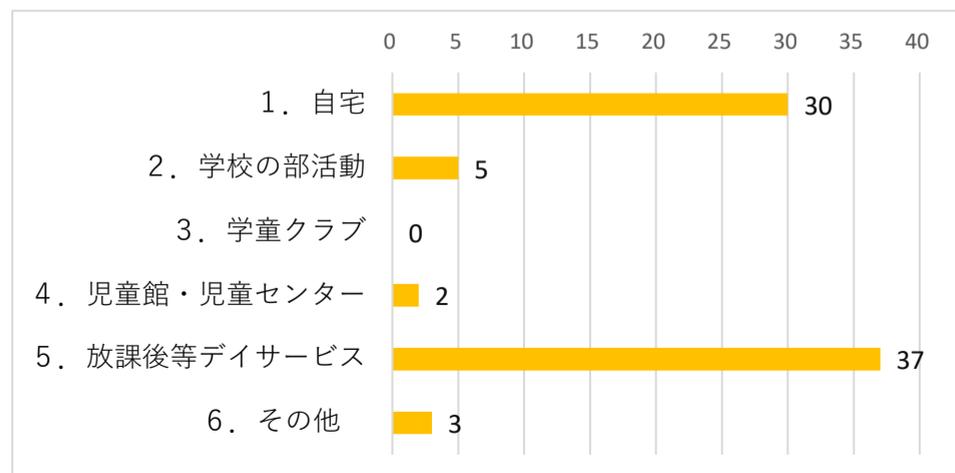
「特別支援学校」が39%と最も多く、次いで「小・中学校の特別支援学級」となりました。

就学中の年齢内訳

【問22～25】	歳	人
共通	6～12	38
	13～15	24
	16～18	9
	19～	5
	無回答	1

【問23】 あなたは放課後、主にどのように過ごしていますか。1つお選びください。

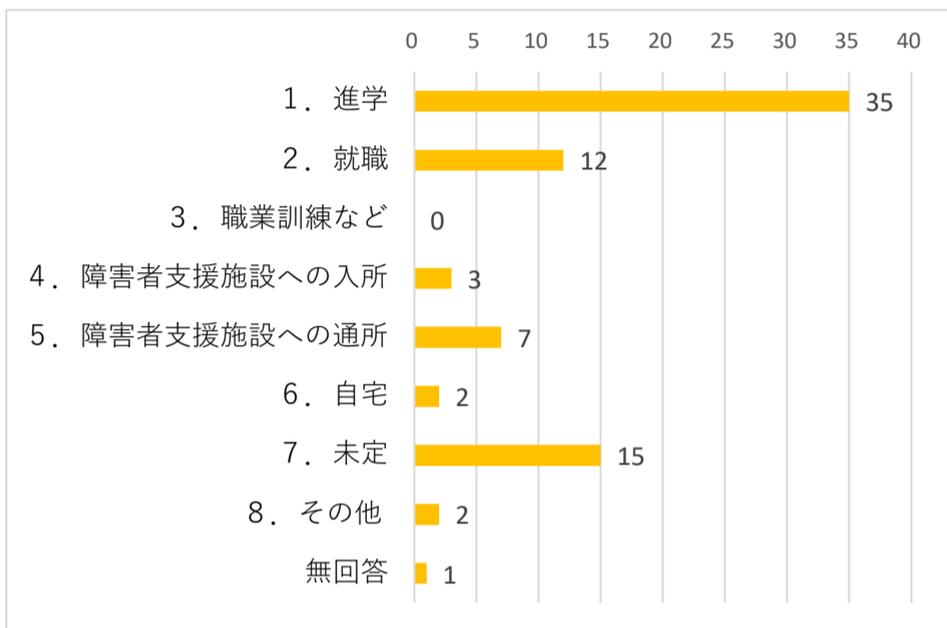
	回答数	割合
1. 自宅	30	39.0%
2. 学校の部活動	5	6.5%
3. 学童クラブ	0	0.0%
4. 児童館・児童センター	2	2.6%
5. 放課後等デイサービス	37	48.1%
6. その他	3	3.9%
計	N=77	77 100.0%



放課後の過ごし方は「放課後等デイサービス」が48.1%と最も多く、次いで「自宅」39.0%となっています。

【問24】 あなたは、卒業後の進路についてどのようにお考えですか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 進学	35	45.5%
2. 就職	12	15.6%
3. 職業訓練など	0	0.0%
4. 障害者支援施設への入所	3	3.9%
5. 障害者支援施設への通所	7	9.1%
6. 自宅	2	2.6%
7. 未定	15	19.5%
8. その他	2	2.6%
無回答	1	1.3%
計	N=77	77 100.0%



「進学」を考えている人が45.5%と最も多い結果となりました。

就学中の年齢内訳

【問22～25】

共通

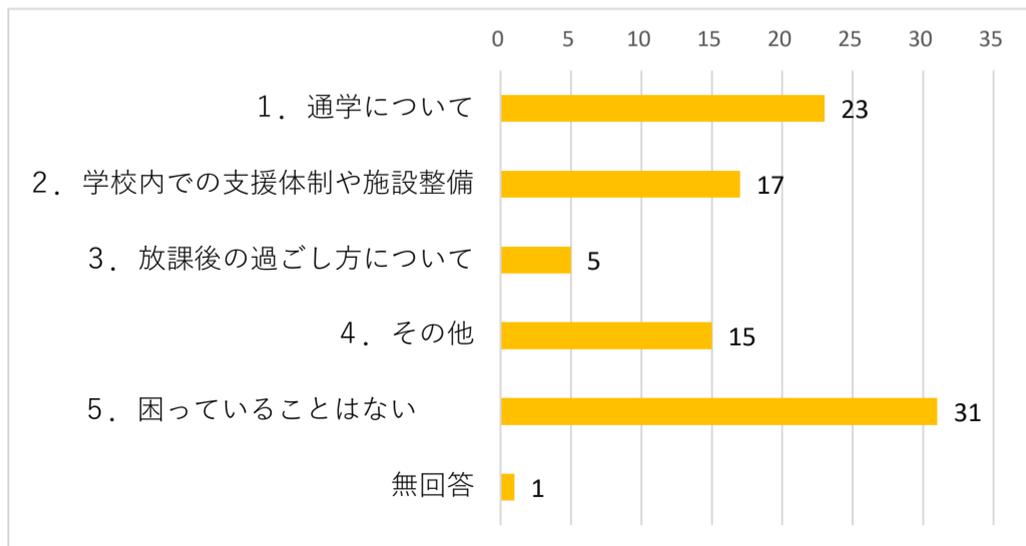
歳	人
6～12	38
13～15	24
16～18	9
19～	5
無回答	1

【問25-1】 就学に関して困っていることはありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

【複数回答】

	回答数	割合
1. 通学について	23	29.9%
2. 学校内での支援体制や施設整備	17	22.1%
3. 放課後の過ごし方について	5	6.5%
4. その他	15	19.5%
5. 困っていることはない	31	40.3%
無回答	1	1.3%

N=77



「困っていることはない」が40.3%ですが、困っていることとしては、「通学について」29.9%、「学校内での支援体制や施設整備」が22.1%と高くなっています。

【問25-2】 【問25-1】 で1～4 と答えた方におたずねします。お困りの具体的な内容を教えてください。

#### 通学について

- ・ 通学の送迎のため親の勤務時間が制限され、親の都合が悪い時に誰も送れない
- ・ 通学の送迎が負担（学校が遠い、親の体調不良時、兄弟の送迎との調整、車が使えない時など）
- ・ スクールバスや送迎サービスを要望
- ・ 特別支援学級に通う場合送迎をしてくれる人がいないため通えないかもしれず、父母いずれか仕事をやめなければならない
- ・ 仕事に支障があるので支援学校の受入れ時間を早めてほしい
- ・ 自分で通学できるか、自然災害によるダイヤ変更に対応できるか不安
- ・ 帰りのバスがなく送迎付きの放課後デイサービスを利用しなければならない
- ・ 高等支援学校にスクールバスがなく一人で行けるか不安、朝の公共バスが少ない

#### 学校内での支援体制について

- ・ 外見からわからない障がいのため理解が得られにくい
- ・ 担当教員が1年で変更することもあり対応が大変
- ・ 学校看護師、医療コーディネーターの不足
- ・ 学校内での学校看護師制度や医療的ケア児に対する理解が低い
- ・ 授業で先生の言っていることが聞き取れないので音声を変換しタブレットに送るなどの設備を導入してほしい
- ・ 市や県、病院、教育機関の間で情報共有など連携が全くないため親が教諭にすべて申し出なければ対応してもらえない
- ・ 支援学級なのに全然助けてもらえず別室で放置された日が続き今は登校していない
- ・ 障がいのある子は学区にこだわらずその子に合った学校選びができればと思う
- ・ 障がい者への理解が少なく市立県立高校への進学が難しい
- ・ 高校は配慮を求めると入学を断られないか不安
- ・ 支援学校では医師がいないためカニューレ抜管時の再挿入ができないが、緊急時には看護師が再挿入できるようにしてほしい
- ・ 学校の対応が不十分、話をよく聞かずに断るのではなく話をよく聞き丁寧な説明をしてほしい
- ・ クラスのうるさい子で集中できない
- ・ 授業の内容が理解できるか不安

#### 学校内での施設整備について

- ・ 学校の昇降口にスロープがない、身体障がい者用のトイレが普通学級から遠い、手すりが合わない
- ・ 支援学校では整備計画が甘いまま学校づくりをしていることや教室不足が不安
- ・ 支援学校にグラウンド（校庭）やプールがない（近々に敷設するといいつつ5年間整備されず）
- ・ 洋式トイレが少なく物品を置く棚がない
- ・ 保健室がなく体調を崩しやすいので不安
- ・ エレベーターがついている高校が少ない

#### 放課後の過ごし方について

- ・ 放課後や長期休みに家で一人で過ごせないの見守りが必要
- ・ 放課後デイサービスの予約が取れない
- ・ 学校が休みの時は放課後デイサービスの時間が短いため父母以外の手を借りている
- ・ 放課後デイサービス利用中に後頭部を縫うけがをしたため今後の利用を悩んでいる

#### その他

- ・ 他人とコミュニケーションが取れない
- ・ そばにいてくれる友達があればいいと思う
- ・ 家族以外のコミュニティがほぼない（感染リスクや医療的ケアの観点から）
- ・ 体力的にアルバイトができず収入が厳しい
- ・ これから何が困るのか分からない
- ・ 行き渋りがあり登校拒否気味である
- ・ 訪問級ではヘルパーがいるのに親が立ち会わなければならない
- ・ 体調の安定管理、内臓のしくみや服薬により度々調子が悪くなり、早退や欠席をしてしまう

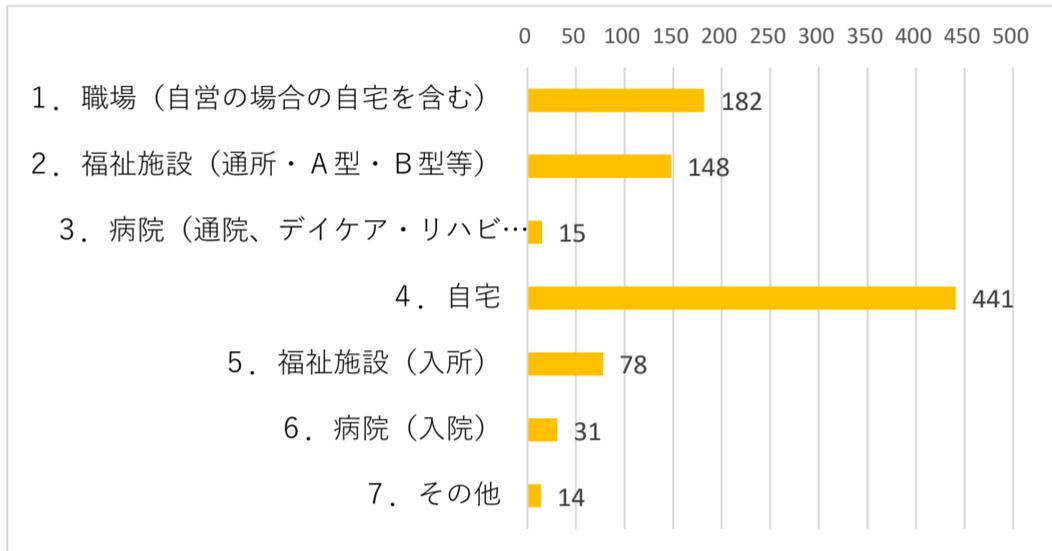
- ・ 運動に制限がある、着替えや水泳時、手術のあとを気にしてしまう
- ・ 不登校のため自宅で過ごし学習の遅れがあるが受け皿がなくだれにも頼れない（市の福祉課、児童相談所、発達支援センター、児童精神科ほぼすべてに相談するも改善しない）
- ・ 言語療法や作業療法を今個別に受けられたら伸びそうと感じているが、就学すると受けられる場所がなくなってしまう
- ・ 勉強ができないこと
- ・ 通学、放課後、入浴、短期入所、リハビリ等利用したくてもできない

通学の送迎に負担や不安を抱えていることがうかがえます。学校内での支援体制については、障がい特性に応じた支援の充実、職員や関係者による情報共有と連携、医療的ケアの充実が求められています。施設については、計画的な整備、グラウンドやプール、障がいの特性に応じた施設整備を求める声があります。放課後の過ごし方については、放課後等デイサービスの充実が望まれています。また、コミュニケーションや体調面での問題、学校への行き渋りなど困っていることは多岐にわたっています。

《学校を卒業されている方のみ、問26～問33をお答えください。》

【問26】 あなたは平日の日中、主にどこで過ごしていますか。1つお選びください。

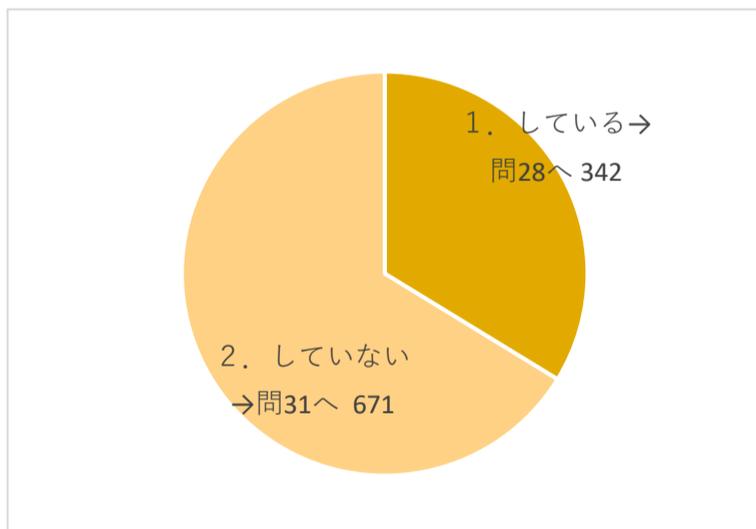
	回答数	割合
1. 職場（自営の場合の自宅を含む）	182	20.0%
2. 福祉施設（通所・A型・B型等）	148	16.3%
3. 病院（通院、デイケア・リハビリ）	15	1.7%
4. 自宅	441	48.5%
5. 福祉施設（入所）	78	8.6%
6. 病院（入院）	31	3.4%
7. その他	14	1.5%
計	N=909 909	100.0%



学校を卒業した人が平日の日中に過ごす場所は、「自宅」が48.5%と約半数になっています。

【問27】 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。

	回答数	割合
1. している→問28へ	342	33.8%
2. していない→問31へ	671	66.2%
計	N=1,013 1,013	100.0%

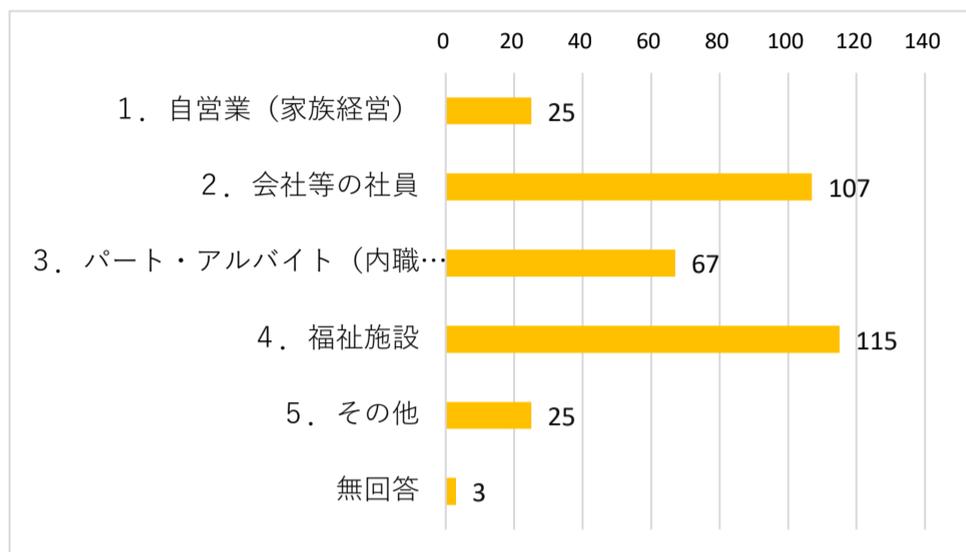


33.8%の人が収入を伴う仕事をしていました。

《問28～30は、問27で「1.している」と答えた、収入を伴う仕事をしている方におたずねします。》

【問28】 どのような形で仕事をしていますか。

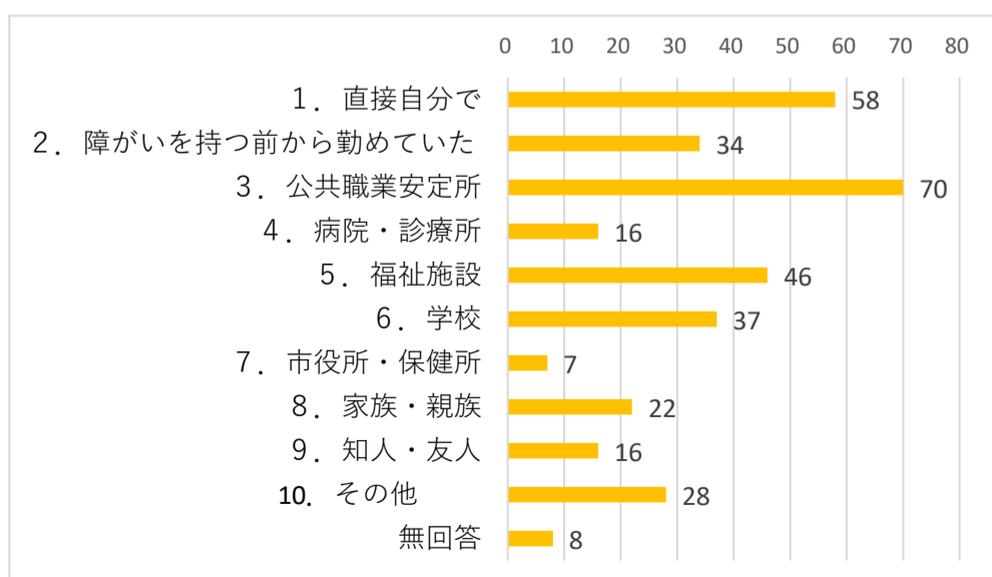
	回答数	割合
1. 自営業（家族経営）	25	7.3%
2. 会社等の社員	107	31.3%
3. パート・アルバイト（内職含む）	67	19.6%
4. 福祉施設	115	33.6%
5. その他	25	7.3%
無回答	3	0.9%
計	N=342	342 100.0%



就労形態は、「福祉施設」での就労や「会社等の社員」の順となっています。

【問29】 今の仕事を探すときにどこで情報を得ましたか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 直接自分で	58	17.0%
2. 障がいを持つ前から勤めていた	34	9.9%
3. 公共職業安定所	70	20.5%
4. 病院・診療所	16	4.7%
5. 福祉施設	46	13.5%
6. 学校	37	10.8%
7. 市役所・保健所	7	2.0%
8. 家族・親族	22	6.4%
9. 知人・友人	16	4.7%
10. その他	28	8.2%
無回答	8	2.3%
計	N=342	342 100.0%

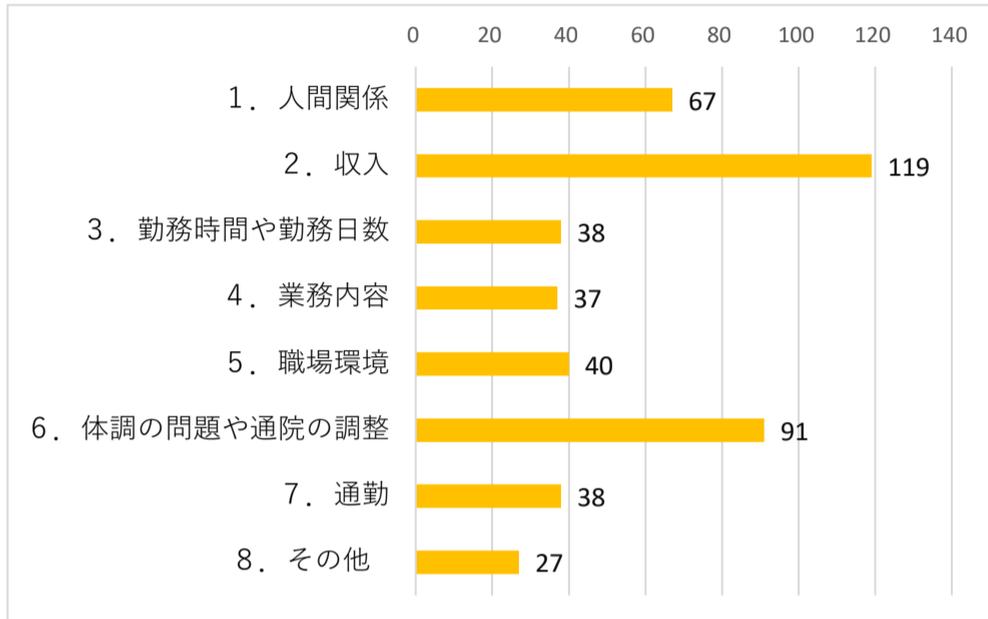


仕事を探す際の情報取得は、「公共職業安定所」「直接自分で」「福祉施設の紹介」の順となっています。

【問30】 仕事上で困っていることはありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

【複数回答】	回答数	割合
1. 人間関係	67	25.7%
2. 収入	119	45.6%
3. 勤務時間や勤務日数	38	14.6%
4. 業務内容	37	14.2%
5. 職場環境	40	15.3%
6. 体調の問題や通院の調整	91	34.9%
7. 通勤	38	14.6%
8. その他	27	10.3%

N=261



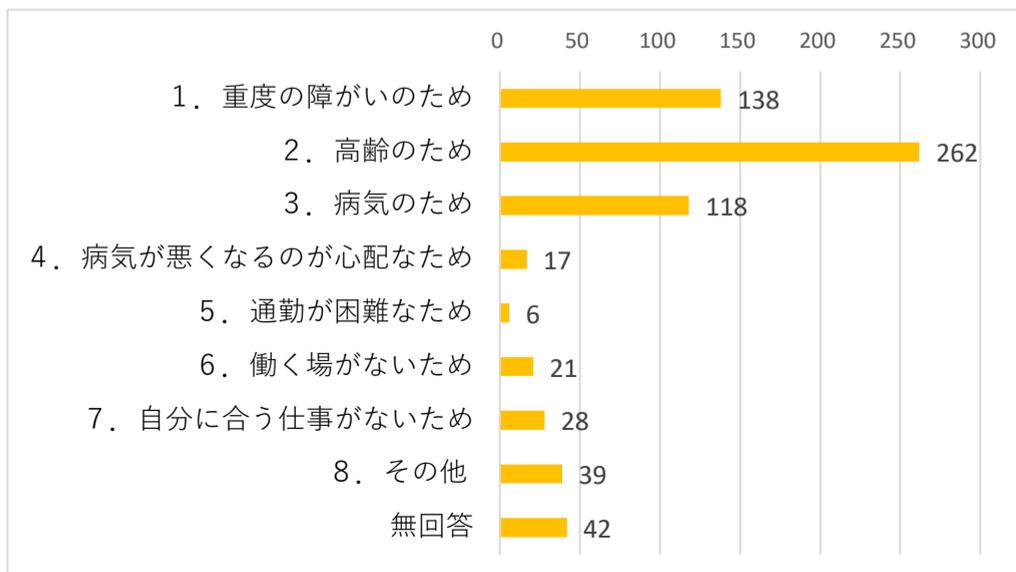
【問27】 × 【問30】

仕事上で困っていることがあると回答した人は、収入を伴う仕事をしていると回答した342人中261人（76.3%）おり、困っている内容は、多い順に「収入」「体調の問題や通院の調整」「人間関係」の順となっています。

《問31～33は、問27で「2.していない」と答えた、収入を伴う仕事をしていない方におたずねします。》

【問31】 仕事をしていない一番の理由は何ですか。1つお選びください。

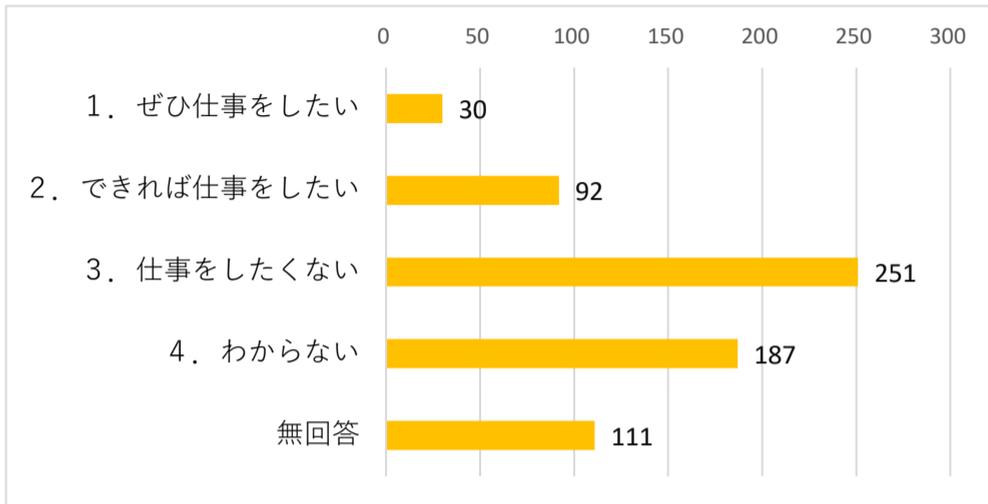
	回答数	割合
1. 重度の障がいのため	138	20.6%
2. 高齢のため	262	39.0%
3. 病気のため	118	17.6%
4. 病気が悪くなるのが心配なため	17	2.5%
5. 通勤が困難なため	6	0.9%
6. 働く場がないため	21	3.1%
7. 自分に合う仕事がないため	28	4.2%
8. その他	39	5.8%
無回答	42	6.3%
計	N=671	671 100.0%



仕事をしていない理由として、「高齢のため」「重度の障がいのため」「病気のため」が多数を占めました。

【問32】 問27で「2.していない」と答えた方におたずねします。あなたはこれから仕事をしたいと思いませんか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. ぜひ仕事をしたい	30	4.5%
2. できれば仕事をしたい	92	13.7%
3. 仕事をしたくない	251	37.4%
4. わからない	187	27.9%
無回答	111	16.5%
計	N=671	671 100.0%

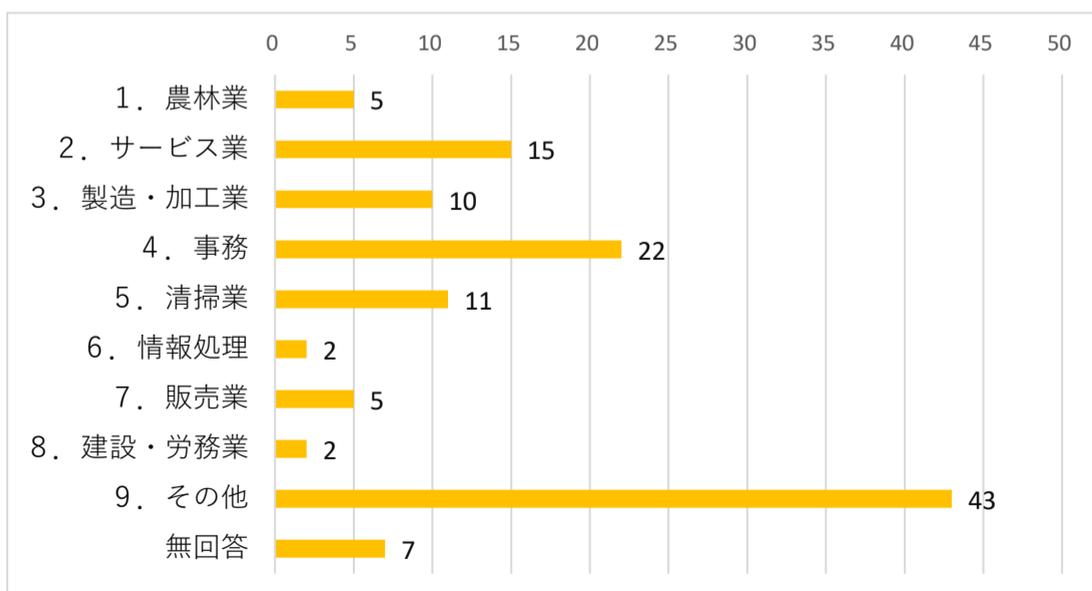


【問31】 × 【問32】

「仕事をしたくない」が37.4%でしたが、仕事をしていない理由が「高齢のため」「重度の障がいのため」「病気のため」は77.2%でした。「ぜひ仕事をしたい」「できれば仕事をしたい」が18.2%に上り、就労につなげていくことが課題と言えます。

【問33】 問32で「1. ぜひ仕事をしたい」、「2. できれば仕事をしたい」と答えた方におたずねします。どのような仕事をしたいと思いませんか。1つお選びください。

	回答数	割合
1. 農林業	5	4.1%
2. サービス業	15	12.3%
3. 製造・加工業	10	8.2%
4. 事務	22	18.0%
5. 清掃業	11	9.0%
6. 情報処理	2	1.6%
7. 販売業	5	4.1%
8. 建設・労務業	2	1.6%
9. その他	43	35.2%
無回答	7	5.7%
計	N=122	122 100.0%

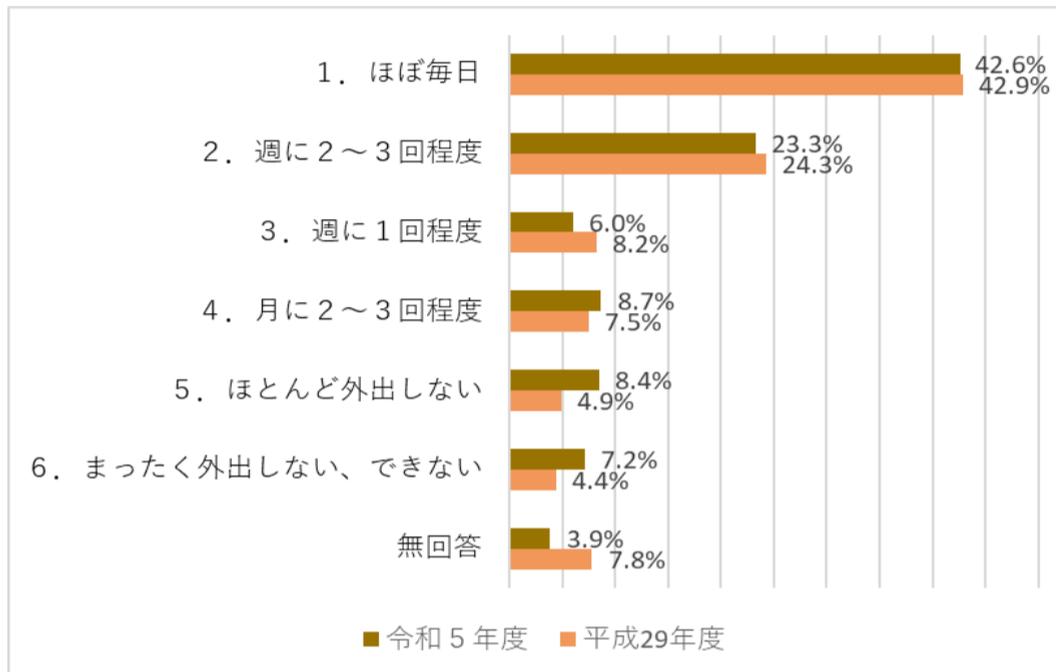


具体的な職業としては、「事務」「サービス業」が多い傾向にあります。

《 問34からはすべての方がお答えください。 》

【問34】 あなたは日頃どれくらい外出しますか。通勤、通学、通院等を含めて近いものを1つお選びください。

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. ほぼ毎日	540	42.6%	42.9%
2. 週に2～3回程度	295	23.3%	24.3%
3. 週に1回程度	76	6.0%	8.2%
4. 月に2～3回程度	110	8.7%	7.5%
5. ほとんど外出しない	107	8.4%	4.9%
6. まったく外出しない、できない	91	7.2%	4.4%
無回答	49	3.9%	7.8%
計	N=1,268		1,268 100.0%

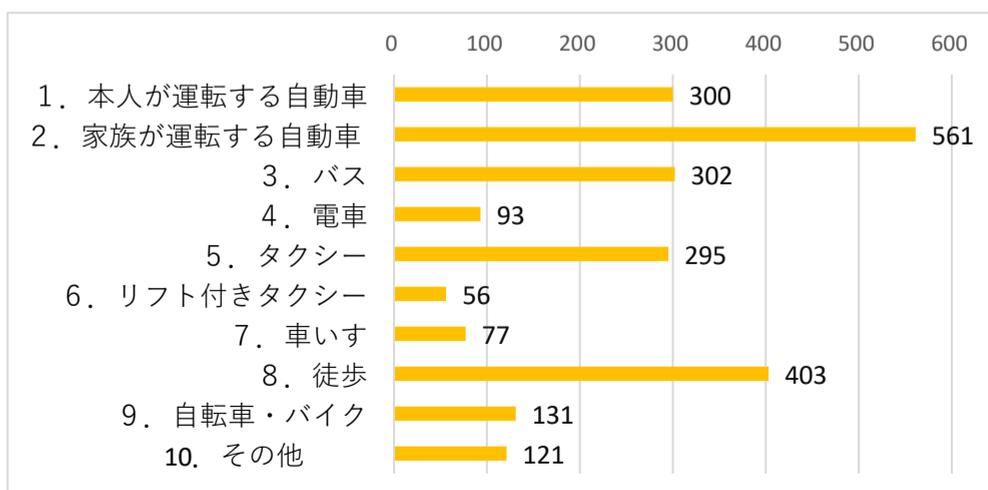


外出は「ほぼ毎日」「週に2～3回程度」の順で多く、前回調査の平成29年度と同様の傾向がみられました。

【問35】 外出するときの交通手段は何ですか。当てはまるものをすべてお選びください。

【複数回答】	回答数	割合
1. 本人が運転する自動車	300	23.7%
2. 家族が運転する自動車	561	44.2%
3. バス	302	23.8%
4. 電車	93	7.3%
5. タクシー	295	23.3%
6. リフト付きタクシー	56	4.4%
7. 車いす	77	6.1%
8. 徒歩	403	31.8%
9. 自転車・バイク	131	10.3%
10. その他	121	9.5%

N=1,268

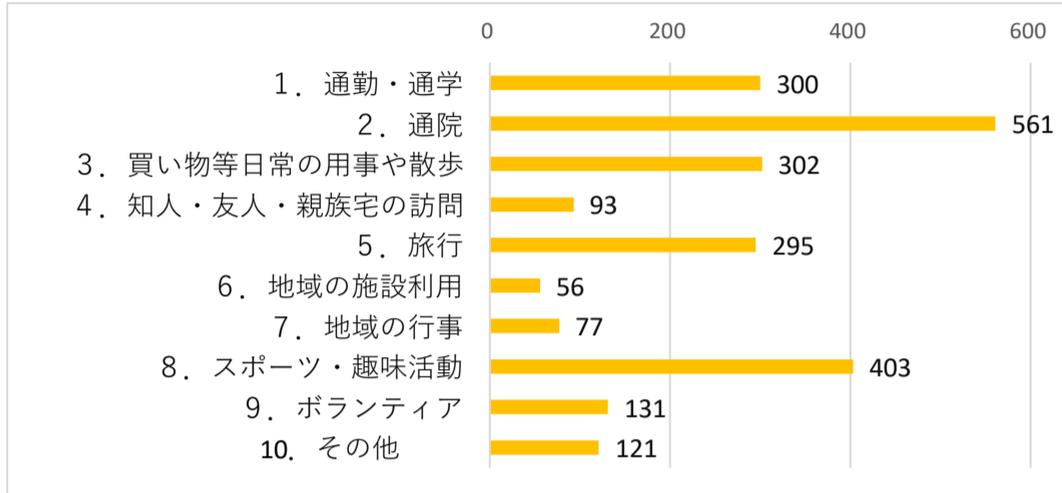


外出するときの交通手段としては「家族が運転する自動車」が最も多く、次いで「徒歩」の順となっており、「バス」「本人が運転する自動車」「タクシー」がほぼ同じ割合となっています。

【問36】 外出の目的は何ですか。多いものを3つまでお選びください。

【複数回答 3つまで】

	回答数	割合	
1. 通勤・通学	300	23.7%	
2. 通院	561	44.2%	
3. 買い物等日常の用事や散歩	302	23.8%	
4. 知人・友人・親族宅の訪問	93	7.3%	
5. 旅行	295	23.3%	
6. 地域の施設利用	56	4.4%	
7. 地域の行事	77	6.1%	
8. スポーツ・趣味活動	403	31.8%	
9. ボランティア	131	10.3%	
10. その他	121	9.5%	N=1,268



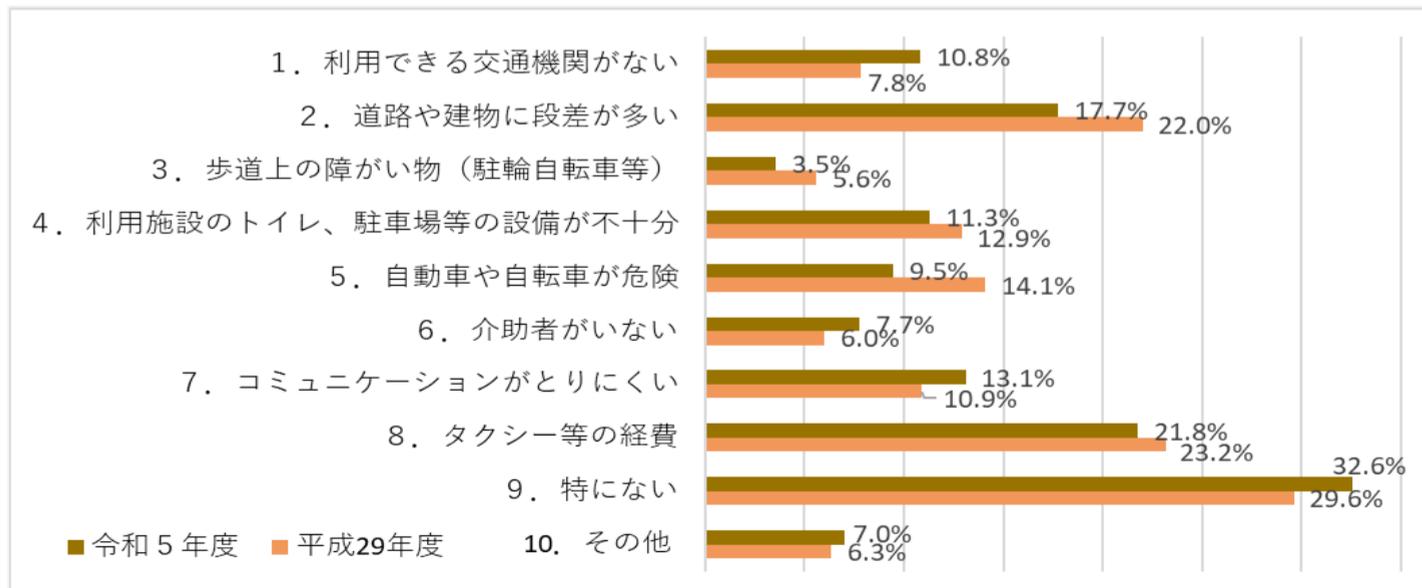
外出の目的は、「通院」「スポーツ・趣味活動」が多い傾向にあります。

【問37】 外出の際困ることは何ですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 利用できる交通機関がない	137	10.8%	7.8%
2. 道路や建物に段差が多い	225	17.7%	22.0%
3. 歩道上の障がい物（駐輪自転車等）	45	3.5%	5.6%
4. 利用施設のトイレ、駐車場等の設備が不十分	143	11.3%	12.9%
5. 自動車や自転車が危険	120	9.5%	14.1%
6. 介助者がいない	98	7.7%	6.0%
7. コミュニケーションがとりにくい	166	13.1%	10.9%
8. タクシー等の経費	276	21.8%	23.2%
9. 特にない	413	32.6%	29.6%
10. その他	89	7.0%	6.3%

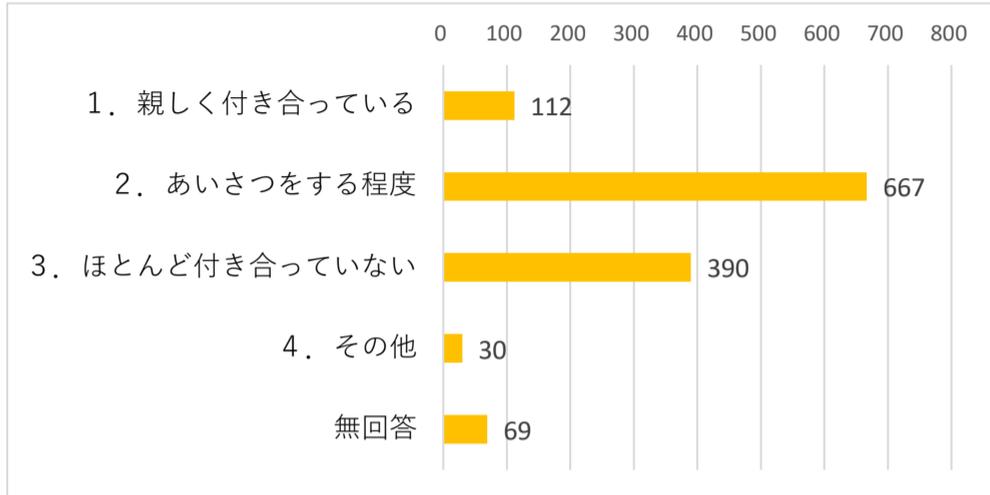
N=1,268



外出の際困ることは「特にない」が最も多い一方で、困っていることでは「タクシー等の経費」21.8%、「道路や建物に段差が多い」17.7%となっています。平成29年度の調査から割合が増加した項目は、「利用できる交通機関がない」「コミュニケーションがとりにくい」「介助者がいない」となっています。

【問38】 あなたはどの程度、近所付き合いをしていますか。1つお選びください。

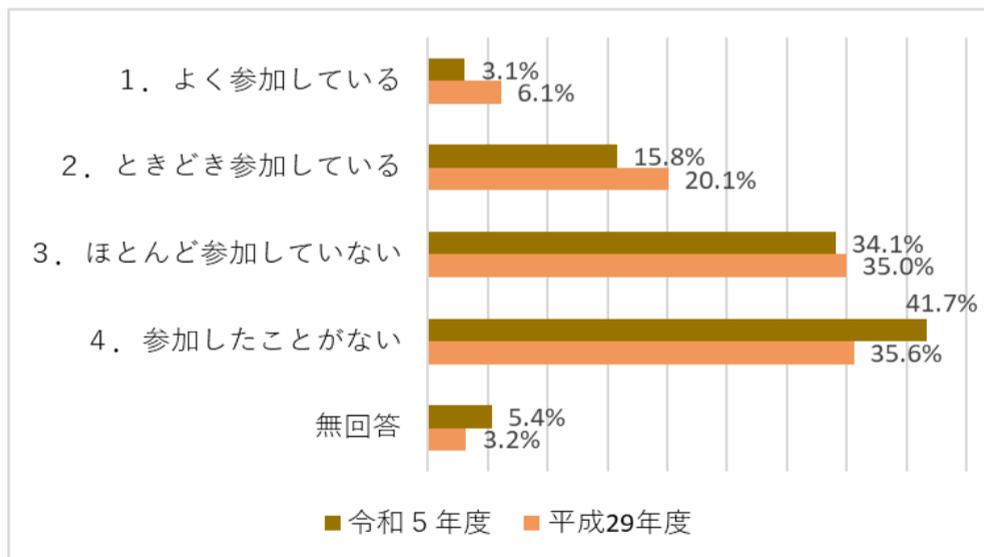
	回答数	割合
1. 親しく付き合っている	112	8.8%
2. あいさつをする程度	667	52.6%
3. ほとんど付き合っていない	390	30.8%
4. その他	30	2.4%
無回答	69	5.4%
計	N=1,268	1,268 100.0%



近所付き合いについては、「あいさつをする程度」が52.6%と約半数となっており、「ほとんど付き合っていない」が30.8%になりました。

【問39】 あなたは地域行事に参加していますか。1つお選びください。

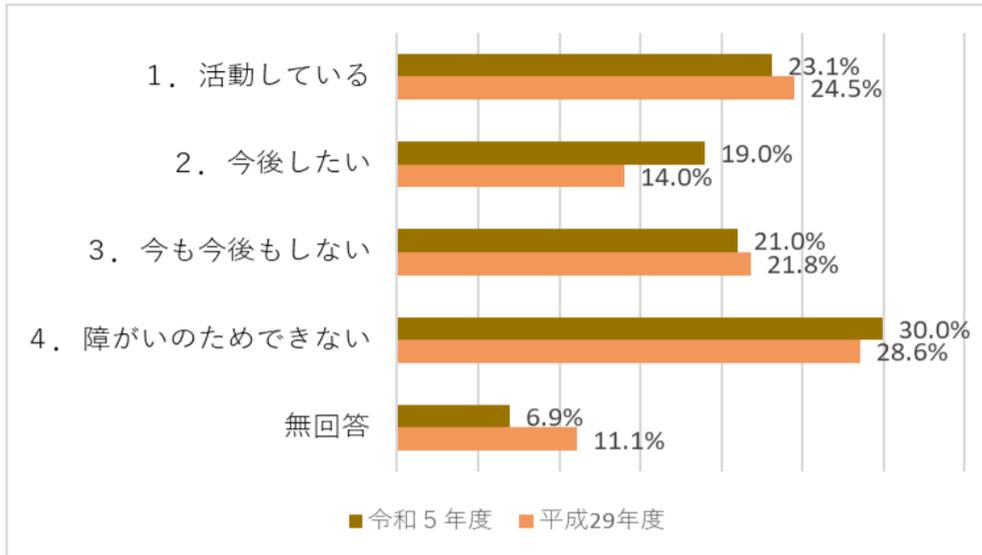
	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よく参加している	39	3.1%	6.1%
2. ときどき参加している	200	15.8%	20.1%
3. ほとんど参加していない	432	34.1%	35.0%
4. 参加したことがない	529	41.7%	35.6%
無回答	68	5.4%	3.2%
計	N=1,268	1,268 100.0%	100.0%



地域行事への参加は、「参加したことがない」が41.7%と多く、平成29年度の調査と比較して、参加しない傾向が強まっています。

【問40】 あなたはスポーツや趣味の活動を行っていますか。1つお選びください。

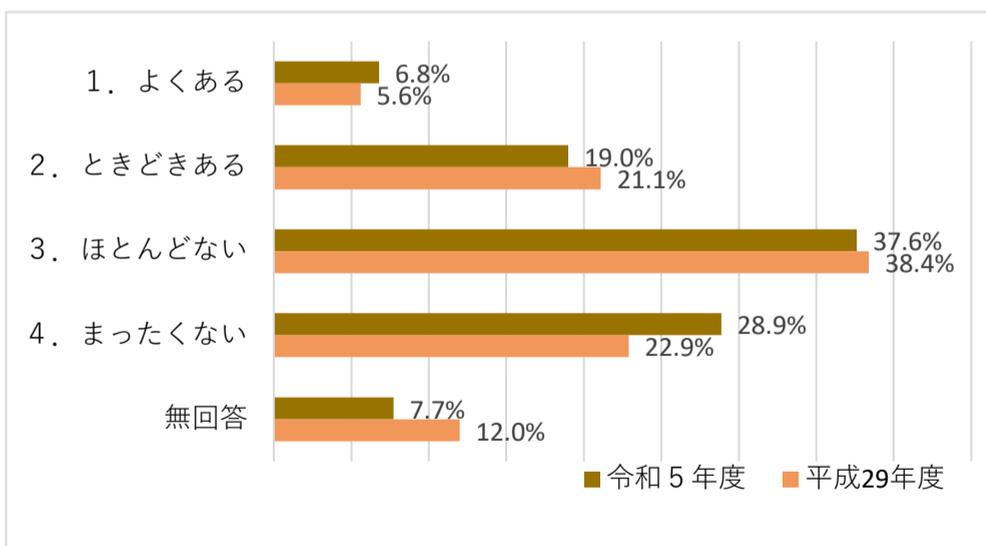
	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 活動している	293	23.1%	24.5%
2. 今後したい	241	19.0%	14.0%
3. 今も今後もしない	266	21.0%	21.8%
4. 障がいのためできない	380	30.0%	28.6%
無回答	88	6.9%	11.1%
計	N=1,268		1,268 100.0%



スポーツや趣味については、「活動している」が23.1%でした。また、「今後したい」が19.0%となりました。

【問41】 あなたは障がいがあるために差別を受けたりいやな思いをしたりしたことがありますか。1つお選びください。

【全体】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	86	6.8%	5.6%
2. ときどきある	241	19.0%	21.1%
3. ほとんどない	477	37.6%	38.4%
4. まったくない	366	28.9%	22.9%
無回答	98	7.7%	12.0%
計	N=1,268		1,268 100.0%



差別を受けたりいやな思いをしたりしたことが「まったくない」が平成29年度調査から6ポイント増えましたが、「よくある」も1.2ポイント増えました。

【身体】 【問6×問41】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	47	5.2%	3.6%
2. ときどきある	129	14.3%	17.2%
3. ほとんどない	355	39.4%	40.3%
4. まったくない	294	32.6%	25.4%
無回答	76	8.4%	13.5%
計	N=901	901 100.0%	100.0%

【知的】 【問8×問41】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	20	8.4%	8.5%
2. ときどきある	72	30.1%	30.5%
3. ほとんどない	91	38.1%	36.6%
4. まったくない	41	17.2%	15.9%
無回答	15	6.3%	8.5%
計	N=239	239 100.0%	100.0%

【精神】 【問9×問41】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	34	13.4%	16.0%
2. ときどきある	73	28.7%	38.2%
3. ほとんどない	82	32.3%	27.1%
4. まったくない	50	19.7%	13.9%
無回答	15	5.9%	4.8%
計	N=254	254 100.0%	100.0%

【難病】 【問10×問41】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	18	11.2%	0.0%
2. ときどきある	32	19.9%	18.5%
3. ほとんどない	53	32.9%	33.3%
4. まったくない	41	25.5%	25.9%
無回答	17	10.6%	22.3%
計	N=161	161 100.0%	100.0%

【発達】 【問11×問41】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. よくある	22	12.1%	20.0%
2. ときどきある	65	35.7%	30.0%
3. ほとんどない	57	31.3%	40.0%
4. まったくない	30	16.5%	10.0%
無回答	8	4.4%	0.0%
計	N=182	182 100.0%	100.0%

【高次脳機能】	【問12×問41】	令和5年度		平成29年度 集計なし
		回答数	割合	
1. よくある		6	12.8%	)27.7%
2. ときどきある		7	14.9%	
3. ほとんどない		16	34.0%	)63.8%
4. まったくない		14	29.8%	
無回答		4	8.5%	
計	N=47	47	100.0%	

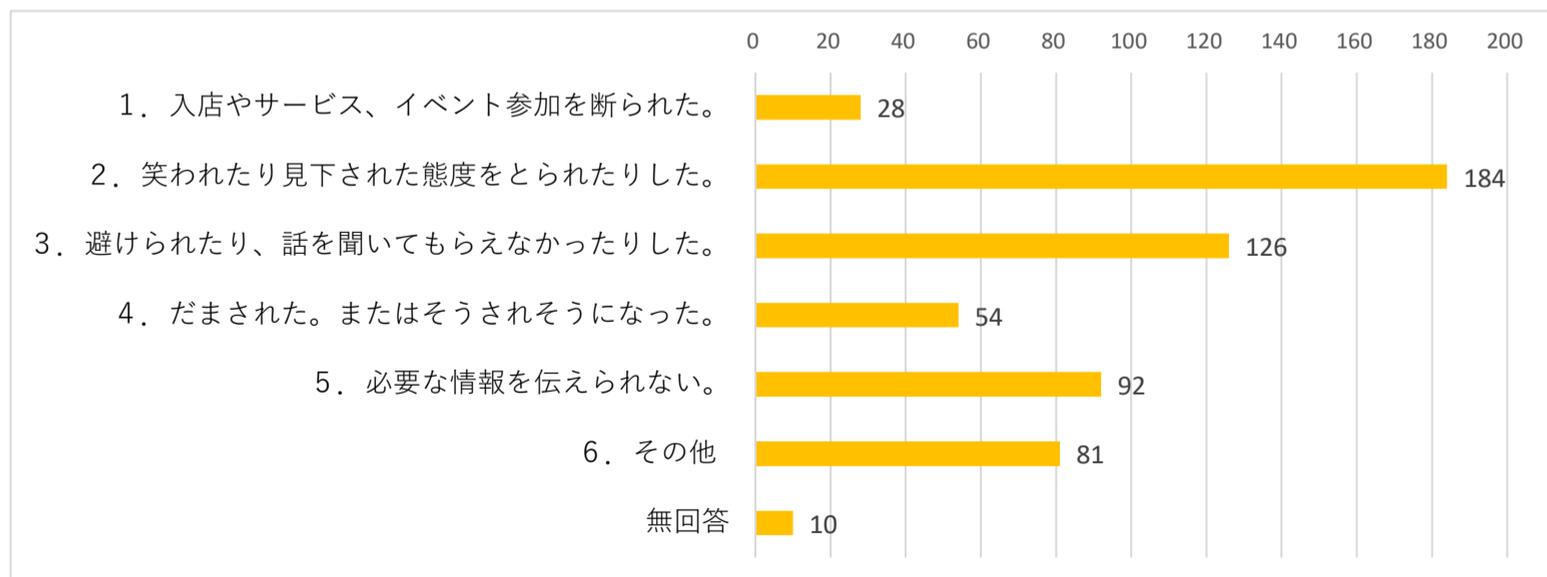
【医療的ケア】	【問13×問41】	令和5年度		平成29年度 集計なし
		回答数	割合	
1. よくある		45	7.8%	)24.4%
2. ときどきある		96	16.6%	
3. ほとんどない		213	36.9%	)67.4%
4. まったくない		176	30.5%	
無回答		47	8.1%	
計	N=577	577	100.0%	

全体の集計では障がいがあるために差別を受けたりいやな思いをしたことが「まったくない」と答えた人がやや増加しました。一方で「よくある」「ときどきある」と答えた人も25.8%であることから、差別解消への取り組みを推進する必要があります。障がい別では、精神障がいと発達障がいにおいて「よくある」「ときどきある」と回答した割合が高く、障がい者や障がい特性についての理解に向けた取組が必要と言えます。

**【問42】** 問41で「1. よくある」「2. ときどきある」と答えた方におたずねします。具体的にどのようなことでしたか。近いものをすべてお選びください。

	回答数	割合
1. 入店やサービス、イベント参加を断られた。	28	7.5%
2. 笑われたり見下された態度をとられたりした。	184	49.5%
3. 避けられたり、話を聞いてもらえなかったりした。	126	33.9%
4. だまされた。またはそうされそうになった。	54	14.5%
5. 必要な情報を伝えられない。	92	24.7%
6. その他	81	21.8%
無回答	10	2.7%

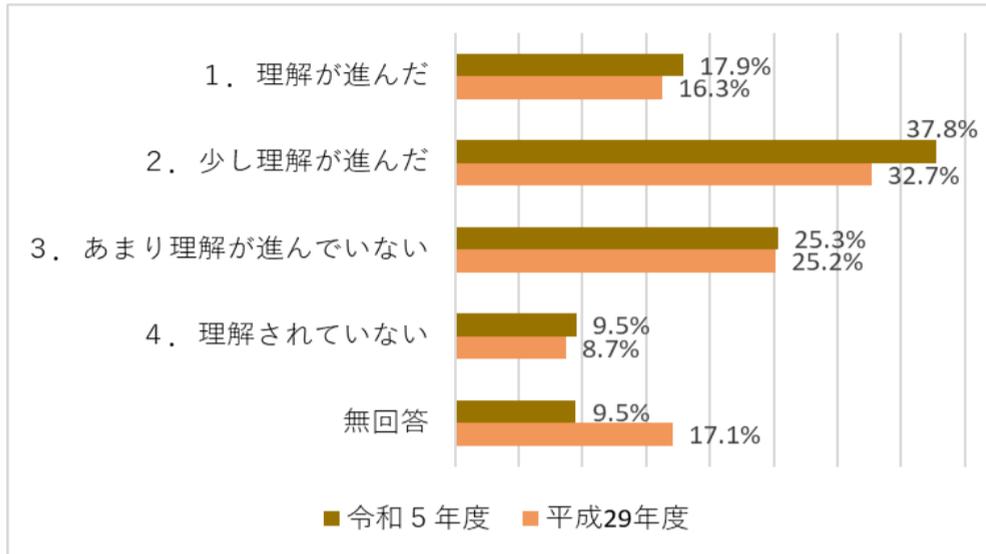
N=327



障がいがあるために差別を受けたりいやな思いをしたことが「よくある」「ときどきある」と答えた人のうち、「笑われたり見下された態度をとられたりした」が49.5%と約半数に上っています。

【問43】 あなたは障がいや障がい者に対する理解についてどのように感じますか。1つお選びください。

【全体】	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 理解が進んだ	227	17.9%	16.3%
2. 少し理解が進んだ	479	37.8%	32.7%
3. あまり理解が進んでいない	321	25.3%	25.2%
4. 理解されていない	121	9.5%	8.7%
無回答	120	9.5%	17.1%
計	N=1,268		1,268 100.0%



障がいや障がい者に対する理解について、当事者は「理解が進んだ」「少し理解が進んだ」と感じる人が平成29年度調査から増加しました。

障がい別 【身体】 【問6×問43】

【身体】	令和5年度	
	回答数	割合
1. 理解が進んだ	189	21.0%
2. 少し理解が進んだ	342	38.0%
3. あまり理解が進んでいない	205	22.8%
4. 理解されていない	69	7.7%
無回答	96	10.7%
計	N=901	

【知的】 【問8×問43】

【知的】	令和5年度	
	回答数	割合
1. 理解が進んだ	20	8.4%
2. 少し理解が進んだ	102	42.7%
3. あまり理解が進んでいない	75	31.4%
4. 理解されていない	24	10.0%
無回答	18	7.5%
計	N=239	

【精神】 【問9×問43】

【精神】	令和5年度	
	回答数	割合
1. 理解が進んだ	37	14.6%
2. 少し理解が進んだ	83	32.7%
3. あまり理解が進んでいない	70	27.6%
4. 理解されていない	45	17.7%
無回答	19	7.5%
計	N=254	

【難病】 【問10×問43】		令和5年度	
		回答数	割合
1. 理解が進んだ		23	14.3%
2. 少し理解が進んだ		59	36.6%
3. あまり理解が進んでいない		51	31.7%
4. 理解されていない		13	8.1%
無回答		15	9.3%
計	N=161	161	100.0%

【発達】 【問11×問43】		令和5年度	
		回答数	割合
1. 理解が進んだ		16	8.8%
2. 少し理解が進んだ		68	37.4%
3. あまり理解が進んでいない		65	35.7%
4. 理解されていない		24	13.2%
無回答		9	4.9%
計	N=182	182	100.0%

【高次脳機能】 【問12×問43】		令和5年度	
		回答数	割合
1. 理解が進んだ		7	14.9%
2. 少し理解が進んだ		15	31.9%
3. あまり理解が進んでいない		17	36.2%
4. 理解されていない		5	10.6%
無回答		3	6.4%
計	N=47	47	100.0%

【医療的ケア】 【問13×問43】		令和5年度	
		回答数	割合
1. 理解が進んだ		118	20.5%
2. 少し理解が進んだ		222	38.5%
3. あまり理解が進んでいない		129	22.4%
4. 理解されていない		54	9.4%
無回答		54	9.4%
計	N=577	577	100.0%

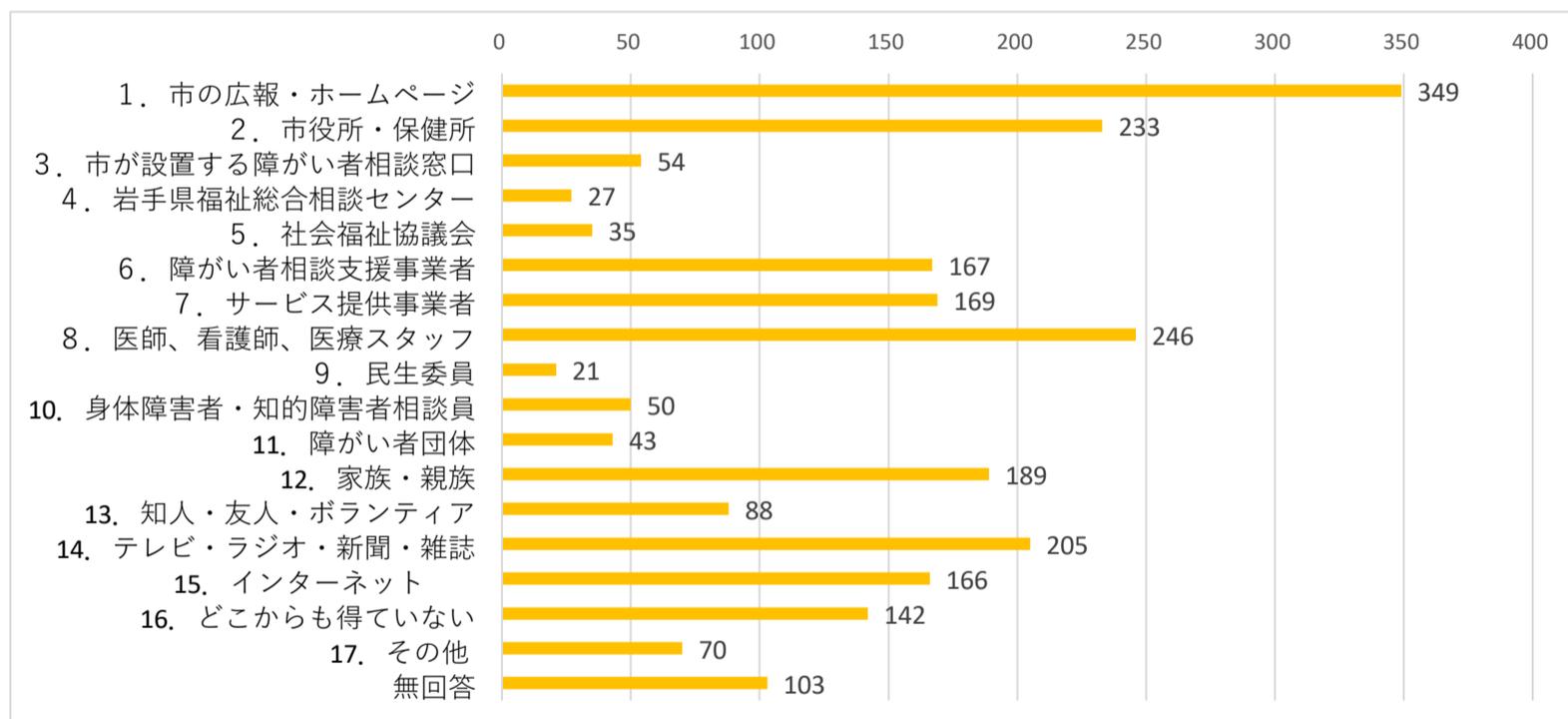
障がいや障がい者に対する理解についての令和5年度全体集計では、「少し理解が進んだ」が37.8%と最も多く、「あまり理解が進んでいない」「理解が進んだ」の順となっており、平成29年度の調査と順位は変わっていません。令和5年度調査では、「理解が進んだ」「少し理解が進んだ」と回答した人が55.7%と半数を超え、平成29年度の調査49.0%から増加した一方、「あまり理解が進んでいない」「理解されていない」と回答した人も34.8%と3人に1人の割合となっています。

障がい別の結果では、精神障がい、発達障がい、高次脳機能障がいにおいて「理解が進んだ」「少し理解が進んだ」と回答した人と、「あまり理解が進んでいない」「理解されていない」と回答した人の比率がほぼ5対5となっています。

【問44】 あなたは福祉サービスの情報をどこから得ていますか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】	回答数	割合
1. 市の広報・ホームページ	349	27.5%
2. 市役所・保健所	233	18.4%
3. 市が設置する障がい者相談窓口	54	4.3%
4. 岩手県福祉総合相談センター	27	2.1%
5. 社会福祉協議会	35	2.8%
6. 障がい者相談支援事業者	167	13.2%
7. サービス提供事業者	169	13.3%
8. 医師、看護師、医療スタッフ	246	19.4%
9. 民生委員	21	1.7%
10. 身体障害者・知的障害者相談員	50	3.9%
11. 障がい者団体	43	3.4%
12. 家族・親族	189	14.9%
13. 知人・友人・ボランティア	88	6.9%
14. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	205	16.2%
15. インターネット	166	13.1%
16. どこからも得ていない	142	11.2%
17. その他	70	5.5%
無回答	103	8.1%

N=1,268



福祉サービスの情報は、「市の広報やホームページ」「医師、看護師、医療スタッフ」から得ている人が多く見られました。

【問45-1】福祉サービスの中であなたが「利用しているもの」は何ですか。当てはまるものをすべてお選びください。

この質問は障がい福祉サービスについておたずねしたのですが、ヘルパー派遣（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護）に関する選択肢が欠落しておりました。御回答いただいた皆様には御迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

【複数回答】	回答数	割合	
1. 障がい児通所支援 (発達支援、放課後等デイ、保育所訪問)	69	5.4%	
2. 短期入所（ショートステイ）	71	5.6%	
3. 療養介護 (入院中の訓練、医学的管理下における介護等)	31	2.4%	
4. 生活介護 (日中における施設での入浴排せつ、食事の介護)	139	11.0%	
5. 施設入所支援	77	6.1%	
6. 共同生活援助（グループホーム）	36	2.8%	
7. 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	72	5.7%	
8. 就労支援（移行・A型・B型）	119	9.4%	
9. 移動支援	53	4.2%	
10. 日中一時支援	86	6.8%	
11. 地域活動支援センター	53	4.2%	
12. 訪問入浴	31	2.4%	
13. サービス利用計画の作成	194	15.3%	
14. 補装具・日常生活用具	168	13.2%	
15. 手話通訳者派遣	3	0.2%	
16. タクシー・ガソリン助成券	251	19.8%	
17. 利用サービスはない	395	31.2%	
無回答	173	13.6%	N=1,268

【問45-2】福祉サービスの中であなたが「今後充実してほしいもの」は何ですか。3つ以内でお選びください。

この質問は障がい福祉サービスについておたずねしたのですが、ヘルパー派遣（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護）に関する選択肢が欠落しておりました。御回答いただいた皆様には御迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

【複数回答 3つまで】	回答数	割合	
1. 障がい児通所支援 (発達支援、放課後等デイ、保育所訪問)	52	4.1%	
2. 短期入所（ショートステイ）	107	8.4%	
3. 療養介護 (入院中の訓練、医学的管理下における介護等)	47	3.7%	
4. 生活介護 (日中における施設での入浴排せつ、食事の介護)	99	7.8%	
5. 施設入所支援	137	10.8%	
6. 共同生活援助（グループホーム）	89	7.0%	
7. 自立訓練（機能訓練、生活訓練）	87	6.9%	
8. 就労支援（移行・A型・B型）	151	11.9%	
9. 移動支援	145	11.4%	
10. 日中一時支援	91	7.2%	
11. 地域活動支援センター	52	4.1%	
12. 訪問入浴	25	2.0%	
13. サービス利用計画の作成	45	3.5%	
14. 補装具・日常生活用具	94	7.4%	
15. 手話通訳者派遣	5	0.4%	
16. タクシー・ガソリン等助成券	417	32.9%	
17. 特にない	268	21.1%	
無回答	178	14.0%	N=1,268

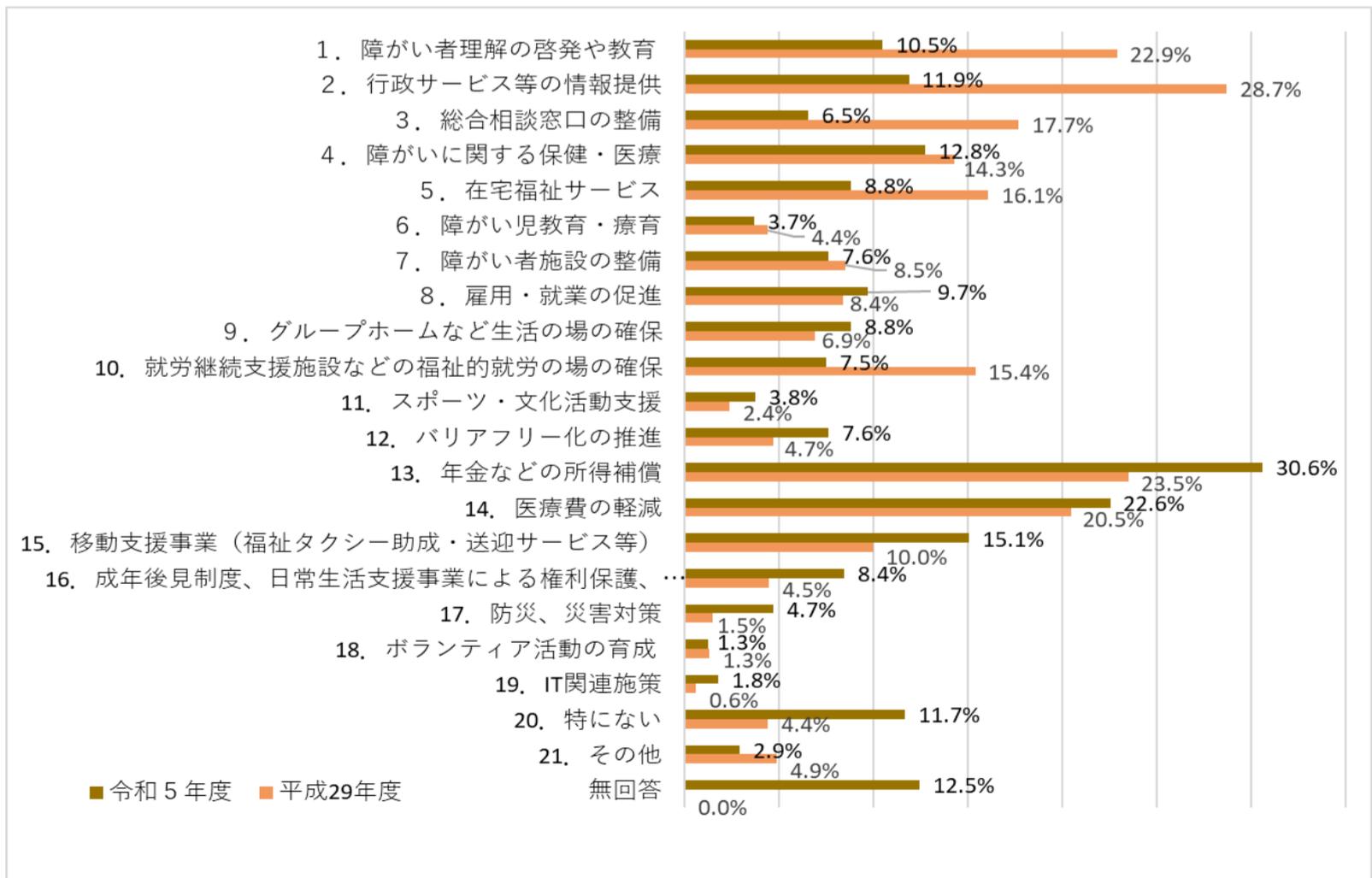
【問46】 あなたが今後充実してほしい障がい者の施策は何ですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 障がい者理解の啓発や教育	133	10.5%	22.9%
2. 行政サービス等の情報提供	151	11.9%	28.7%
3. 総合相談窓口の整備	83	6.5%	17.7%
4. 障がいに関する保健・医療	162	12.8%	14.3%
5. 在宅福祉サービス	112	8.8%	16.1%
6. 障がい児教育・療育	47	3.7%	4.4%
7. 障がい者施設の整備	97	7.6%	8.5%
8. 雇用・就業の促進	123	9.7%	8.4%
9. グループホームなど生活の場の確保	112	8.8%	6.9%
10. 就労継続支援施設などの福祉的就労の場の確保	95	7.5%	15.4%
11. スポーツ・文化活動支援	48	3.8%	2.4%
12. バリアフリー化の推進	97	7.6%	4.7%
13. 年金などの所得補償	388	30.6%	23.5%
14. 医療費の軽減	286	22.6%	20.5%
15. 移動支援事業（福祉タクシー助成・送迎サービス等）	191	15.1%	10.0%
16. 成年後見制度※1、日常生活自立支援事業※2による権利保護、支援	107	8.4%	4.5%
17. 防災、災害対策	60	4.7%	1.5%
18. ボランティア活動の育成	16	1.3%	1.3%
19. IT関連施策	23	1.8%	0.6%
20. 特にない	148	11.7%	4.4%
21. その他	37	2.9%	4.9%
無回答	158	12.5%	—

※1 成年後見制度とは判断能力が十分でない人の財産管理や契約行為を支援する制度

※2 日常生活支援事業では判断能力が十分でない人の福祉サービスの手続代行や日常的な金銭管理を行うもの



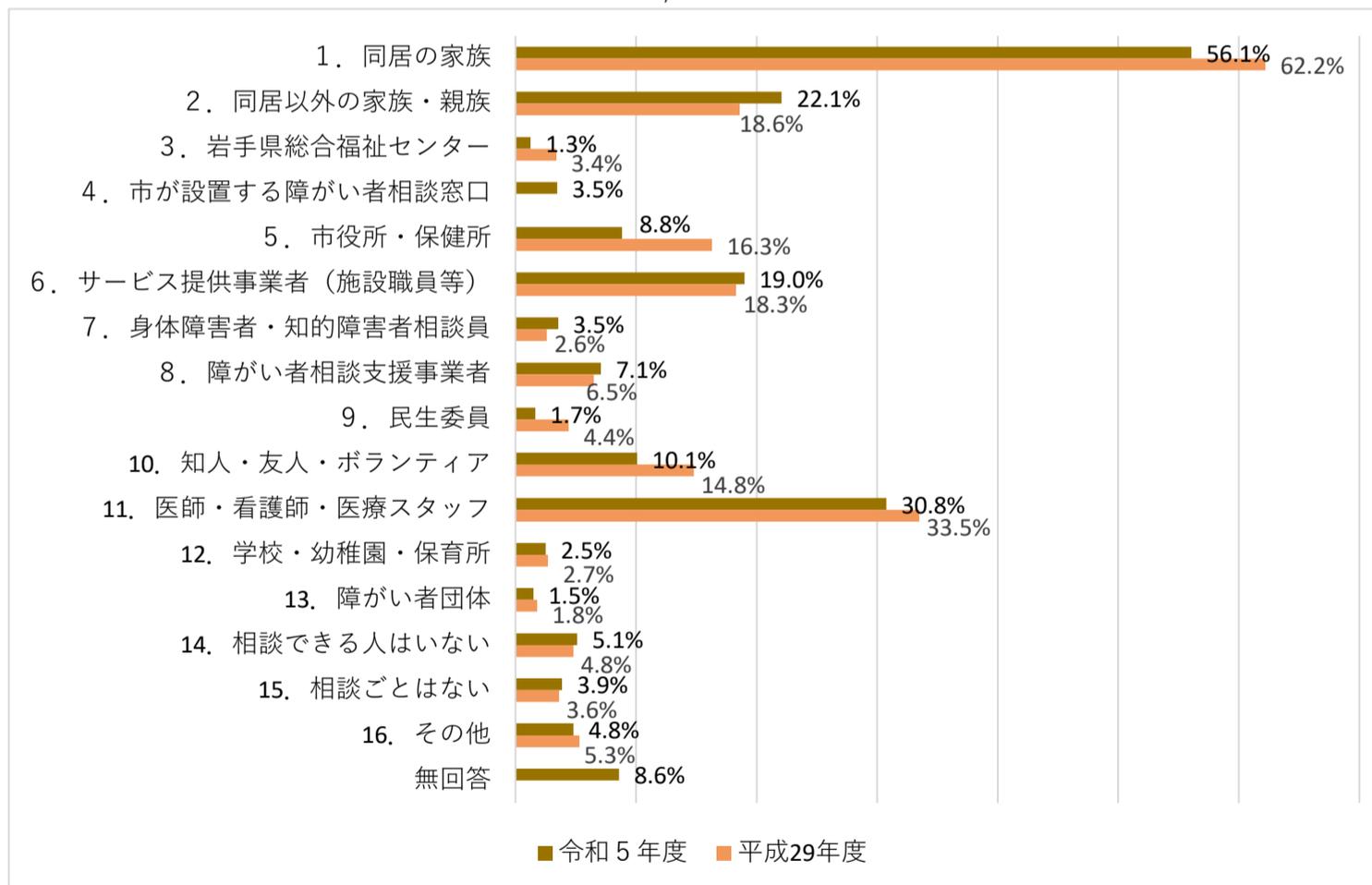
充実してほしい障がい者施策は「年金などの所得補償」「医療費の軽減」が多くこの傾向は平成29年度調査においてもみられました。一方で、平成29年度で割合の多かった「行政サービス等の情報提供」や「障がい者理解の啓発や教育」は令和5年度には大きく減少しました。

【問47】 あなたが主に相談する相手は誰ですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 同居の家族	711	56.1%	62.2%
2. 同居以外の家族・親族	280	22.1%	18.6%
3. 岩手県総合福祉センター	16	1.3%	3.4%
4. 市が設置する障がい者相談窓口	44	3.5%	—
5. 市役所・保健所	112	8.8%	16.3%
6. サービス提供事業者（施設職員等）	241	19.0%	18.3%
7. 身体障害者・知的障害者相談員	45	3.5%	2.6%
8. 障がい者相談支援事業者	90	7.1%	6.5%
9. 民生委員	21	1.7%	4.4%
10. 知人・友人・ボランティア	128	10.1%	14.8%
11. 医師・看護師・医療スタッフ	390	30.8%	33.5%
12. 学校・幼稚園・保育所	32	2.5%	2.7%
13. 障がい者団体	19	1.5%	1.8%
14. 相談できる人はいない	65	5.1%	4.8%
15. 相談ごとはない	49	3.9%	3.6%
16. その他	61	4.8%	5.3%
無回答	109	8.6%	—

N=1,268



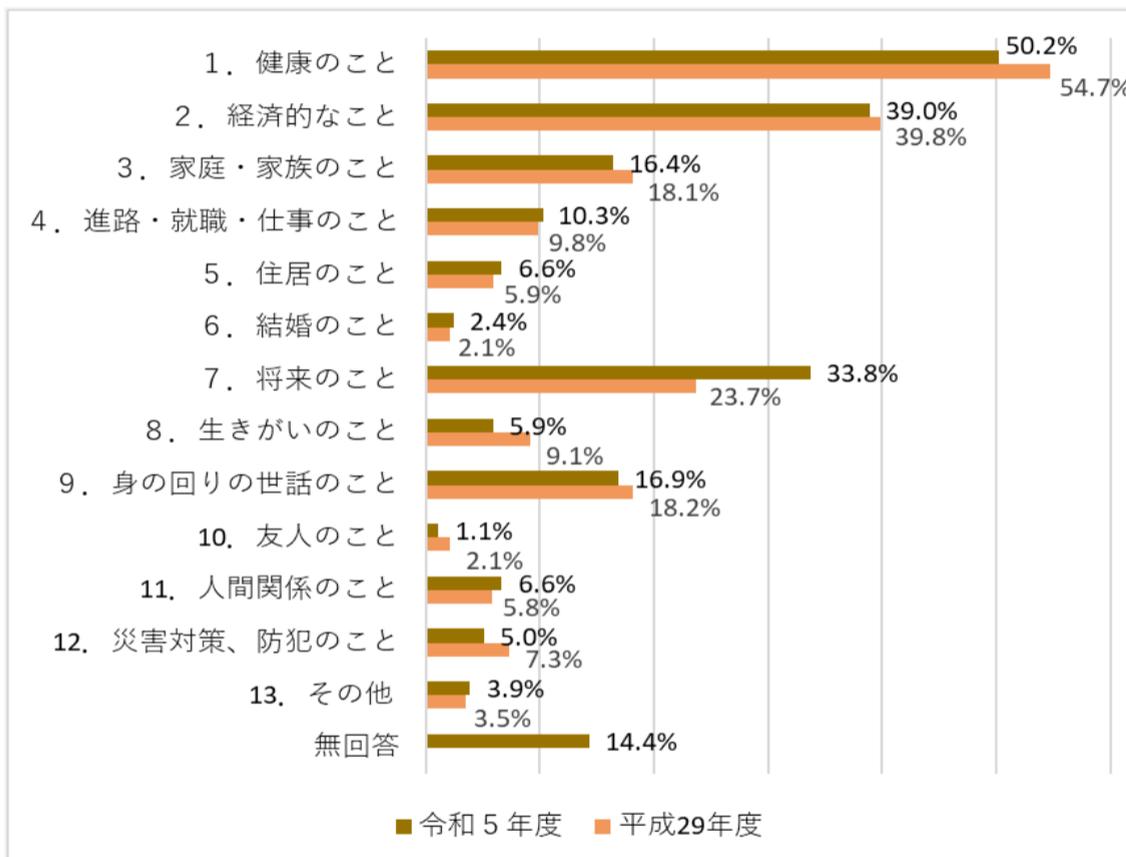
主に相談する相手として、「同居の家族」「医師・看護師・医療スタッフ」「同居以外の家族・親族」の順となっており、令和5年度と平成29年度の調査では同じ傾向が見られます。

【問48】 あなたの相談内容や不安に思っていることはどのようなことですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 健康のこと	637	50.2%	54.7%
2. 経済的なこと	494	39.0%	39.8%
3. 家庭・家族のこと	208	16.4%	18.1%
4. 進路・就職・仕事のこと	130	10.3%	9.8%
5. 住居のこと	84	6.6%	5.9%
6. 結婚のこと	31	2.4%	2.1%
7. 将来のこと	428	33.8%	23.7%
8. 生きがいのこと	75	5.9%	9.1%
9. 身の回りの世話のこと	214	16.9%	18.2%
10. 友人のこと	14	1.1%	2.1%
11. 人間関係のこと	84	6.6%	5.8%
12. 災害対策、防犯のこと	64	5.0%	7.3%
13. その他	49	3.9%	3.5%
無回答	182	14.4%	—

N=1,268

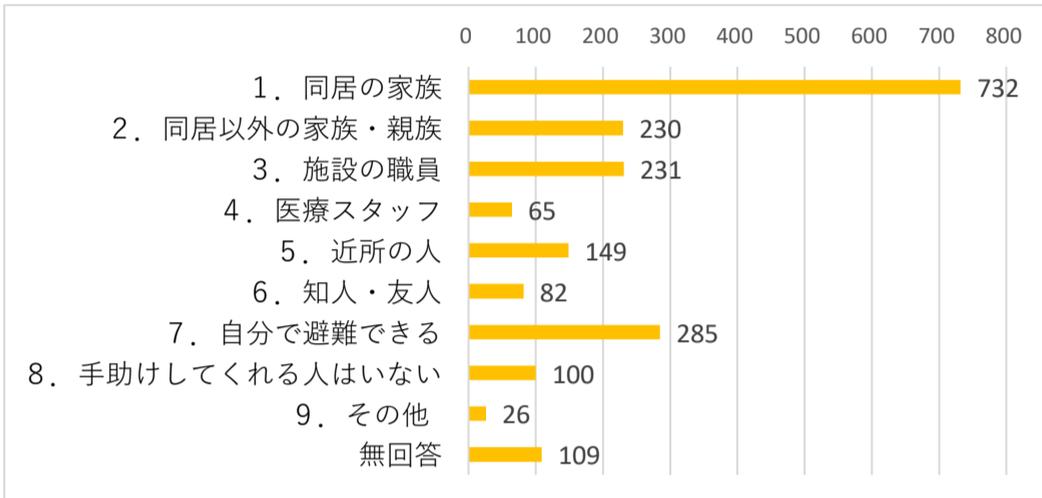


相談内容や不安に思っていることは、「健康のこと」「経済的なこと」「将来のこと」の順となっており、令和5年度調査、平成29年度調査において同じ傾向が見られました。

【問49】 地震や火事などの災害で避難が必要になった場合、あなたの避難を手助けしてくれる人は主に誰ですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	回答数	割合
1. 同居の家族	732	57.7%
2. 同居以外の家族・親族	230	18.1%
3. 施設の職員	231	18.2%
4. 医療スタッフ	65	5.1%
5. 近所の人	149	11.8%
6. 知人・友人	82	6.5%
7. 自分で避難できる	285	22.5%
8. 手助けしてくれる人はいない	100	7.9%
9. その他	26	2.1%
無回答	109	8.6%



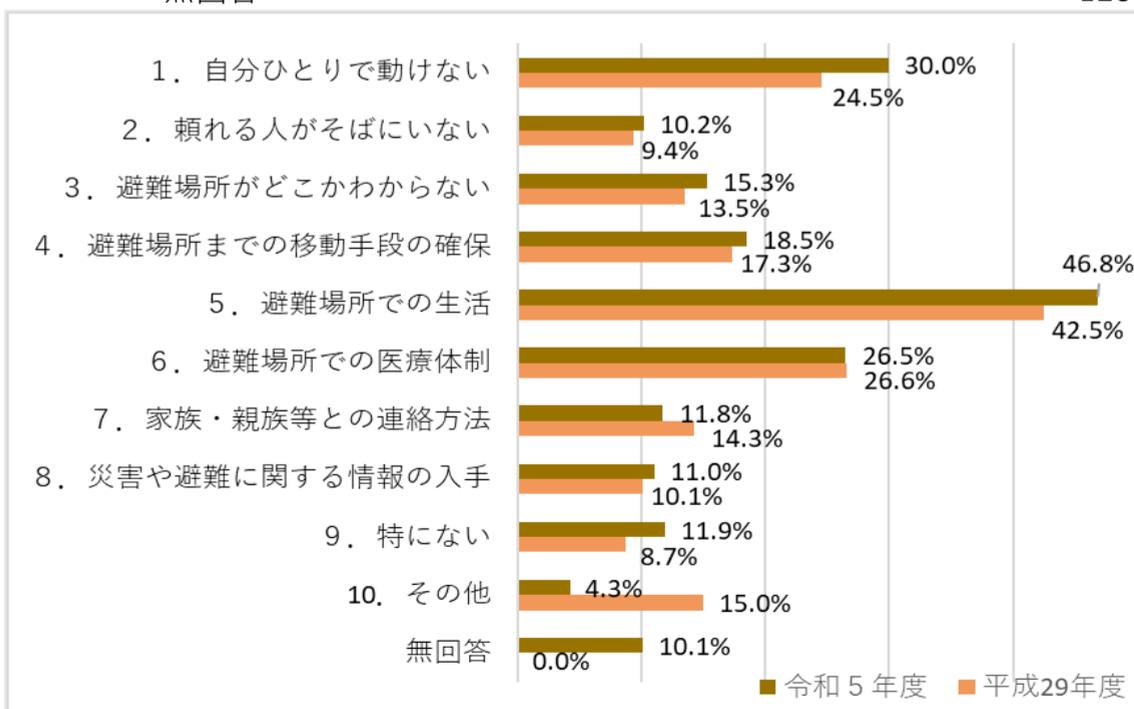
N=1,268

災害時における避難を手助けしてくれる人について、自分で避難できる人以外では、「同居の家族」が57.7%と最も多く、「施設の職員」「同居以外の家族・親族」の順となっています。

【問50】 緊急に避難するとき、あなたが不安に感じることは何ですか。3つ以内でお選びください。

【複数回答 3つまで】

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 自分ひとりで動けない	380	30.0%	24.5%
2. 頼れる人がそばにいない	129	10.2%	9.4%
3. 避難場所がどこかわからない	194	15.3%	13.5%
4. 避難場所までの移動手段の確保	234	18.5%	17.3%
5. 避難場所での生活	593	46.8%	42.5%
6. 避難場所での医療体制	336	26.5%	26.6%
7. 家族・親族等との連絡方法	149	11.8%	14.3%
8. 災害や避難に関する情報の入手	140	11.0%	10.1%
9. 特にない	151	11.9%	8.7%
10. その他	54	4.3%	15.0%
無回答	128	10.1%	-

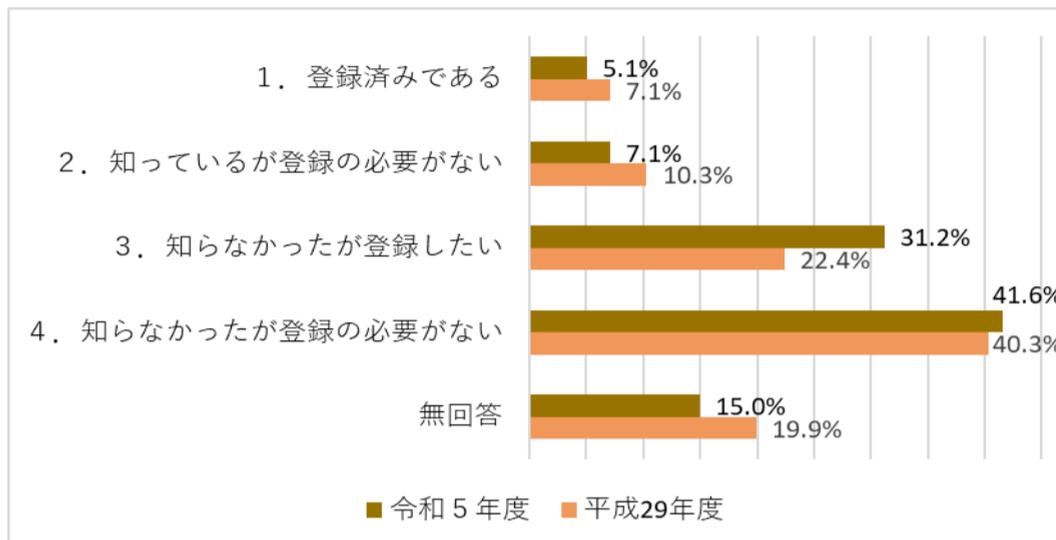


N=1,268

緊急避難時に不安に感じることとして、多い順に「避難場所での生活」「ひとりで動けない」「避難場所での医療体制」となりました。

【問51】 市では災害時に家族等の支援が困難で第三者の支援が必要と想定される方の申請に基づき「災害時要援護者名簿」への登録を行っています。この支援事業を知っていますか。1つお選びください。

	令和5年度		平成29年度
	回答数	割合	割合
1. 登録済みである	65	5.1%	7.1%
2. 知っているが登録の必要がない	90	7.1%	10.3%
3. 知らなかったが登録したい	396	31.2%	22.4%
4. 知らなかったが登録の必要がない	527	41.6%	40.3%
無回答	190	15.0%	19.9%
計	N=1,268		1,268 100.0%



災害時要援護者名簿への登録制度を「知らなかったが登録したい」との回答が平成29年度調査22.4%から令和5年度調査では31.2%と増加しています。引き続き災害時要援護者登録制度の周知を図り、登録を必要とする人が確実に登録できるようにしていく必要があります。